

女性医師の子育て

～8年間で何が変わったか、何が変わっていないか～

女性医師の勤務環境の現況に関する調査 2017年と2009年の詳細比較報告書

平成29(2017)年2月、日本医師会男女共同参画委員会と女性医師支援センターは、病院勤務女性医師を対象とした勤務環境等調査を実施しました。有効回答数10,373を得て、主に、女性医師の働き方と子育ての状況について分析し、同年8月、報告書としてとりまとめました。

2017年調査は、厚生労働省委託女性医師支援センター事業が開始された平成20(2008)年度に実施された調査を踏襲したもので、今般、女性医師の子育ての状況についてのこの8年間の変化をみるために、両調査の結果のうち、子育てに関する項目を詳細に比較しました。

調査の方法、調査票、単純集計結果等の2017年調査については

https://www.med.or.jp/joseiishi/h29wd_survey_summary.pdf

https://www.med.or.jp/joseiishi/h29wd_survey.pdf

2009年調査については

http://dl.med.or.jp/dl-med/teireikaiken/20090408_2.pdf

をご参照ください。

本報告は、以下の方針でとりまとめました。

1. 子育て経験者については、客体の重なりが確認できないことから、調査時点で小学生以下の子育てをしている医師のみを対象として比較した。
2. 両調査ともに子育て経験のない医師との比較を示した。
3. 「女性医師の悩み」と「復職に必要な支援」を含めて「共同参画の現状」として比較した。
4. 選択肢「その他」で記載のあるものについては同じ基準で可及的に再分類して計上した。

以上の点に留意しつつ、この比較結果を女性医師の勤務環境改善や子育て支援のためにご活用ください。

平成30(2018)年4月

日本医師会男女共同参画委員会
日本医師会女性医師支援センター

日本医師会男女共同参画委員会

委員長	小笠原 真澄
副委員長	鹿島 直子
委員	伊藤 富士子
”	笠原 幹司
”	神崎 寛子
”	計田 香子
”	貞永 明美
”	篠原 裕希
”	島崎 美奈子
”	滝田 純子
”	藤根 美穂
”	藤巻 高光
”	細谷 紀子

日本医師会男女共同参画委員会

「女性医師の勤務環境の現況に関する調査 比較詳細版」

ワーキンググループ

委員長	小笠原 真澄
委員	伊藤 富士子
”	笠原 幹司
”	篠原 裕希
”	島崎 美奈子
”	滝田 純子
”	藤巻 高光
”	細谷 紀子
日医総研主席研究員	上家 和子

(委員：五十音順)

日本医師会 女性医師支援センター

日本医師会女性医師バンク
アドバイザー

〃

〃

〃

〃

猪狩 和子

上田 真喜子

鹿島 直子 (再掲)

佐藤 薫

清水 美津子

(五十音順)

目次

I. 比較の概要	1
1-1. 比較の対象	1
II. 基本属性の比較	2
2-1. 年齢	2
2-2. 勤務形態	3
III. 子育てとの両立に関する変化	4
3-1. 家族構成	4
3-1-1. 婚姻の状況	4
3-1-2. 子育て中の女性医師の割合	5
3-2. 子育て状況別にみた子育て中の働き方	6
3-2-1. 子育て状況別の勤務形態	6
3-2-2. 子育て状況別の1週間の実勤務時間	8
3-2-3. 子育て状況別の宿日直、オンコールの状況	10
3-2-4. 子育て状況別の1か月の宿直回数	12
3-2-5. 子育て状況別の宿直翌日の状況	14
3-3. 子育てとの両立の状況	16
3-3-1. 育児休業の取得	16
3-3-2. 夫の育児・家事参加状況	18
3-3-3. 「普段子どもの面倒をみている人」	20
3-3-4. 保育施設の状況	21
3-3-5. 子どもの緊急時の対応	22
3-3-6. 緊急呼び出し時の対応	23
IV. 男女共同参画に関する変化	24
4-1. 女性医師の悩み	24
4-1-1. 年齢階級別にみた女性医師の悩み	24
4-1-2. 年齢階級別にみた家庭・育児に関する悩み	26
4-1-3. 年齢階級別にみた医師としての悩み	29
4-1-4. 年齢階級別にみた職場における女性医師としての悩み	32
4-2. 仕事を続ける上で必要と思う支援	34
4-2-1. 勤務環境の改善に関して必要と思う支援	35
4-2-2. 子育てに関して必要と思う支援	36

I. 比較の概要

1-1. 比較の対象

	2009年調査	2017年調査
調査対象	病院に勤務する女性医師	
調査方法	国内の全病院に対して、病院に勤務する女性医師への調査票の配布を依頼した。 回答は無記名で、勤務先を介さずに直接郵便で返送してもらった。	
調査時期	2008年12月～2009年1月	2017年2月～3月
依頼病院数	8,880施設	8,475施設
回収数	7,497	10,612
有効回答数	7,467 [*]	10,373

※本調査の対象は病院に勤務する女性医師であるが、歯科医師からの回答もあった。2009年調査時は、特に区別せずに集計していたが、2017年調査では有効回答数から除いて集計したため、本報告書では2009年調査についても専門が歯科と思われる回答については改めて除いて集計した（有効回答数は7,385）。そのため、2009年調査当時の報告と集計値が異なる場合がある。

Ⅱ. 基本属性の比較

2-1. 年齢

年齢は、2009年調査では29歳以下が1,312人(17.9%)、30-39歳が3,537人(48.2%)、40-49歳が1,691人(23.0%)、50-59歳が607人(8.3%)、60歳以上が191人(2.6%)となっている。

2017年調査では29歳以下が1,342人(13.1%)、30-39歳が4,349人(42.5%)、40-49歳が2,936人(28.7%)、50-59歳が1,221人(11.9%)、60歳以上が387人(3.8%)となっている。

研修医にしぼって年齢をみると、2009年調査では29歳以下が574人(78.2%)、30-39歳が145人(19.8%)となっている。2017年調査では29歳以下が692人(77.6%)、30-39歳が185人(20.7%)となっている。

図 2-1-1 年齢 (2009年調査・2017年調査)

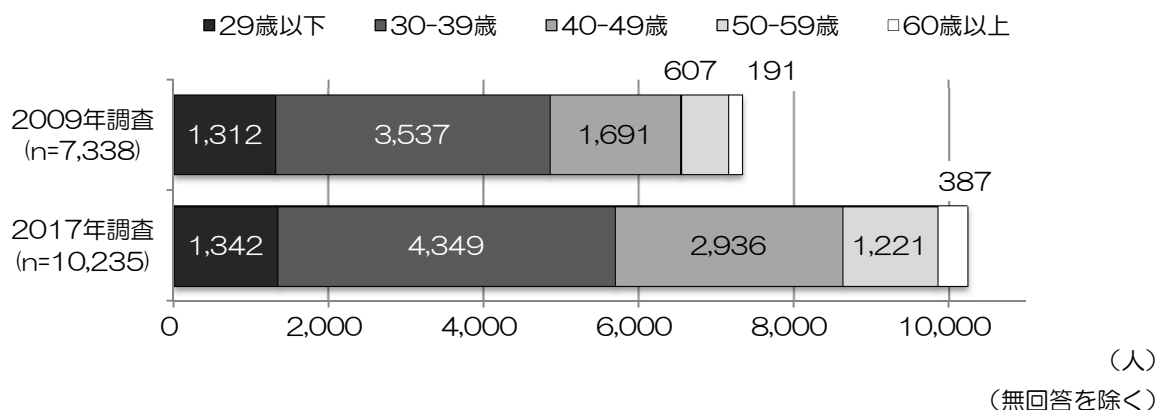
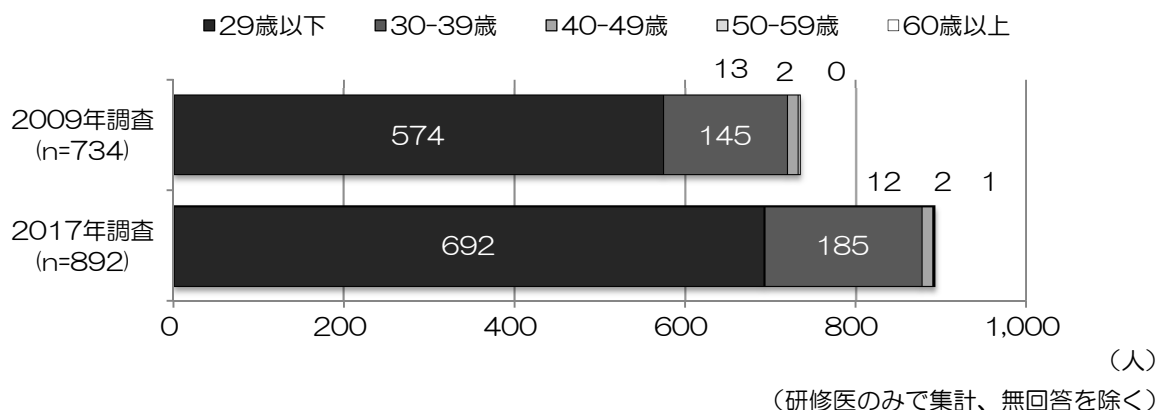


図 2-1-2 研修医の年齢 (2009年調査・2017年調査)



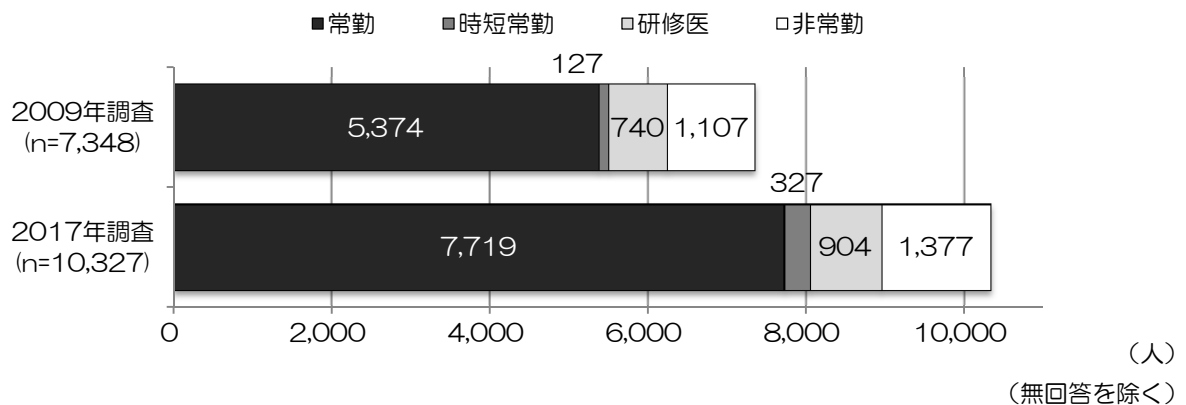
※卒業後年数、診療科(現在の専門)、勤務先での役職の設問のいずれかで研修医と回答した人を「研修医」とした。

2-2. 勤務形態

勤務形態は、2009年調査では常勤が5,374人(73.1%)、時短常勤が127人(1.7%)、研修医が740人(10.1%)、非常勤が1,107人(15.1%)となっている。

2017年調査では常勤が7,719人(74.7%)、時短常勤が327人(3.2%)、研修医が904人(8.8%)、非常勤が1,377人(13.3%)となっている。

図 2-2 勤務形態 (2009年調査・2017年調査)



※調査では「常勤」、「時短常勤(短時間正職員)」、「非常勤」の3つから選択してもらったが、ここでは、他の設問(卒業後年数、診療科(現在の専門)、勤務先での役職のいずれか)で研修医と回答した人を「研修医」に分類し直して集計した。

Ⅲ. 子育てとの両立に関する変化

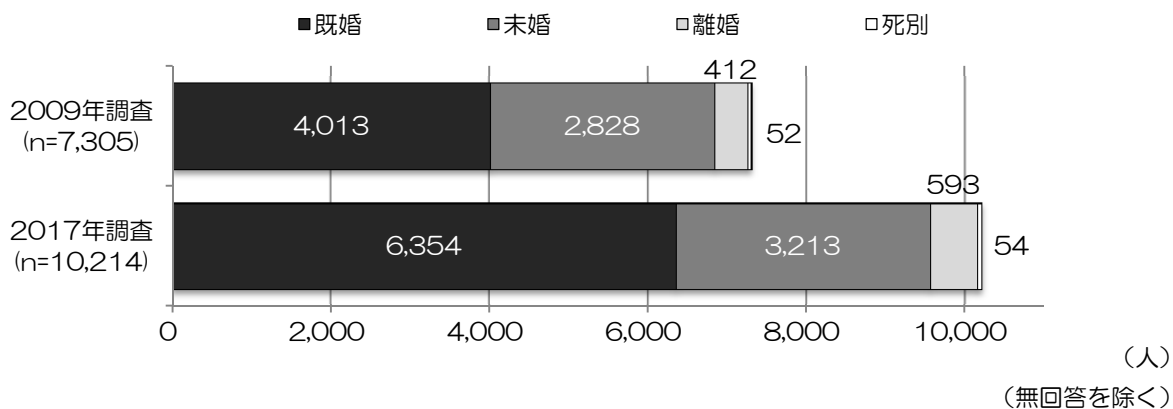
3-1. 家族構成

3-1-1. 婚姻の状況

婚姻の状況は、2009年調査では既婚が4,013人(54.9%)、未婚が2,828人(38.7%)、離婚が412人(5.6%)、死別が52人(0.7%)となっている。

2017年調査では既婚が6,354人(62.2%)、未婚が3,213人(31.5%)、離婚が593人(5.8%)、死別が54人(0.5%)となっている。

図 3-1-1 婚姻の状況 (2009年調査・2017年調査)

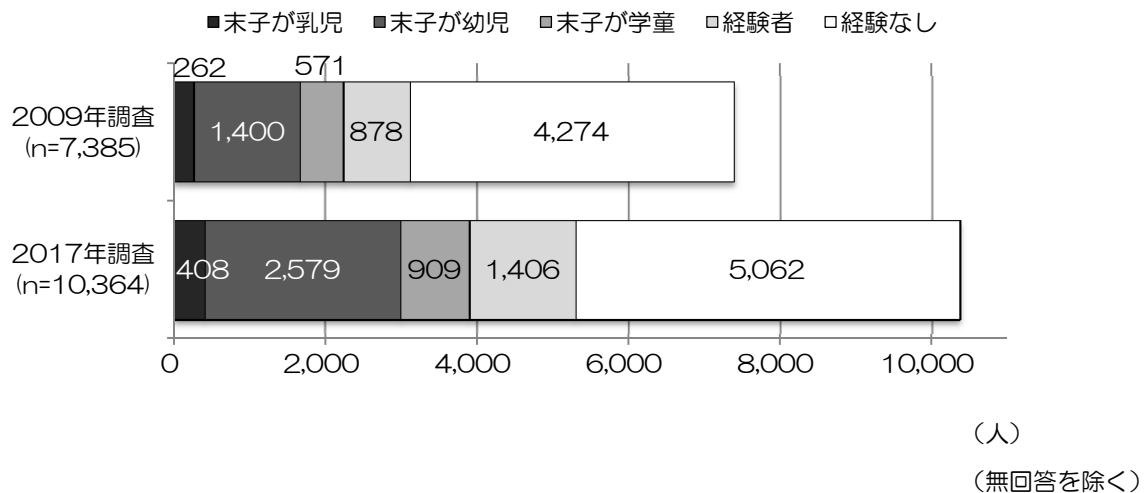


3-1-2. 子育て中の女性医師の割合

子育て中の女性医師の割合について、同居している子どもの末子年齢区分および本人の出産経験から分類したところ、2009年調査では「末子が乳児」が262人(3.5%)、「末子が幼児」が1,400人(19.0%)、「末子が学童」が571人(7.7%)となっており、末子が学童以下の合計(子育て中の女性医師)は2,233人(30.2%)となっている。

2017年調査では「末子が乳児」が408人(3.9%)、「末子が幼児」が2,579人(24.9%)、「末子が学童」が909人(8.8%)となっており、末子が学童以下の合計(子育て中の女性医師)は3,896人(37.6%)となっている。

図 3-1-2 子育て中の女性医師の割合 (2009年調査・2017年調査)



※同居している子どもの年齢区分は「乳児(0歳児)」、「幼児(未就学児)」、「学童(小学生)」、「中学生以上」の4区分。同居している子どもの年齢区分が中学生以上、または、現在子どもと同居していないが出産経験があると回答した人を「経験者」、その他の人を「経験なし」とした。2009年調査では出産経験を直接たずねていないため、出産経験がある方のみへ答えてもらう質問に回答した人を出産経験者とみなして分類した。

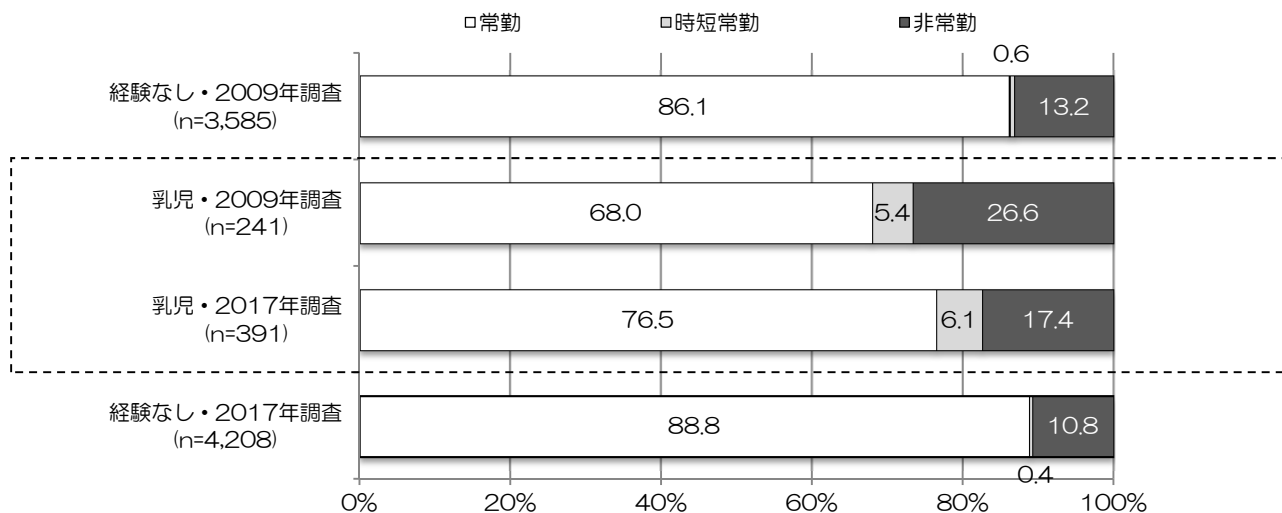
3-2. 子育て状況別にみた子育て中の働き方

3-2-1. 子育て状況別の勤務形態

子育て状況別に勤務形態をみると、乳児子育て中では常勤が2009年調査で68.0%、2017年調査で76.5%となっている。

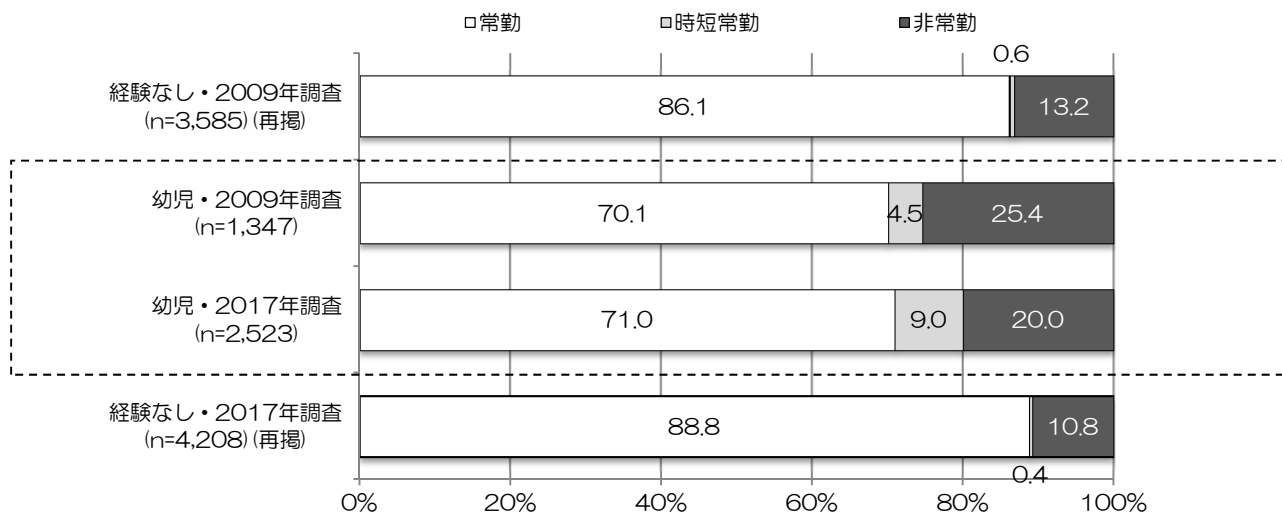
幼児子育て中では常勤が2009年調査で70.1%、2017年調査で71.0%となっている。

図 3-2-1-1 子育て状況別の勤務形態【乳児】(2009年調査・2017年調査)



(無回答を除く)

図 3-2-1-2 子育て状況別の勤務形態【幼児】(2009年調査・2017年調査)

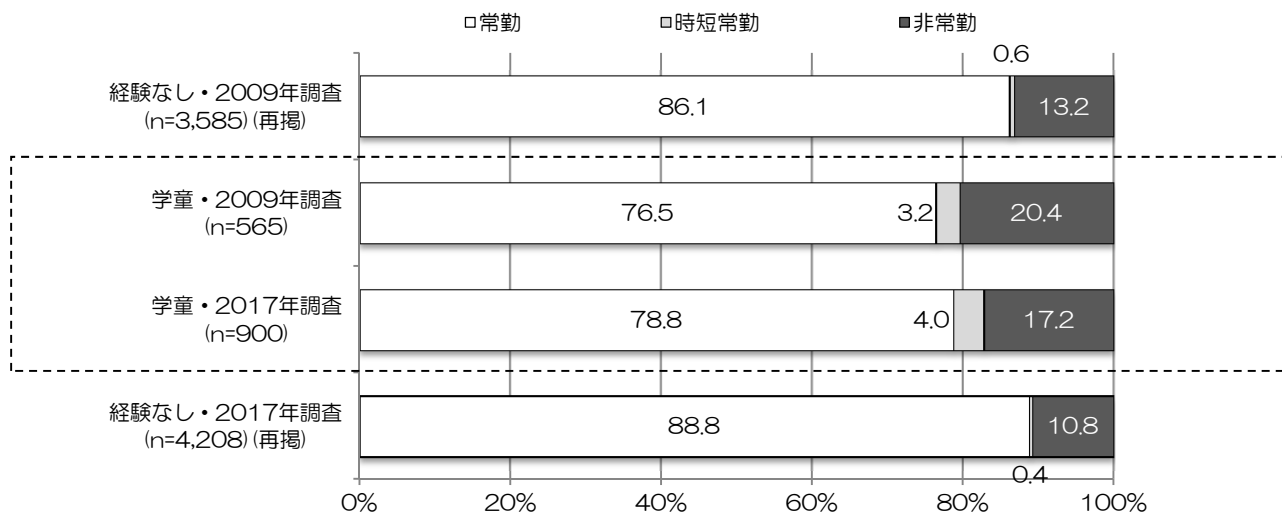


(無回答を除く)

※現在の専門(診療科)、役職、卒業後年数をたずねた質問で「研修医」と回答した人は除いて集計した。

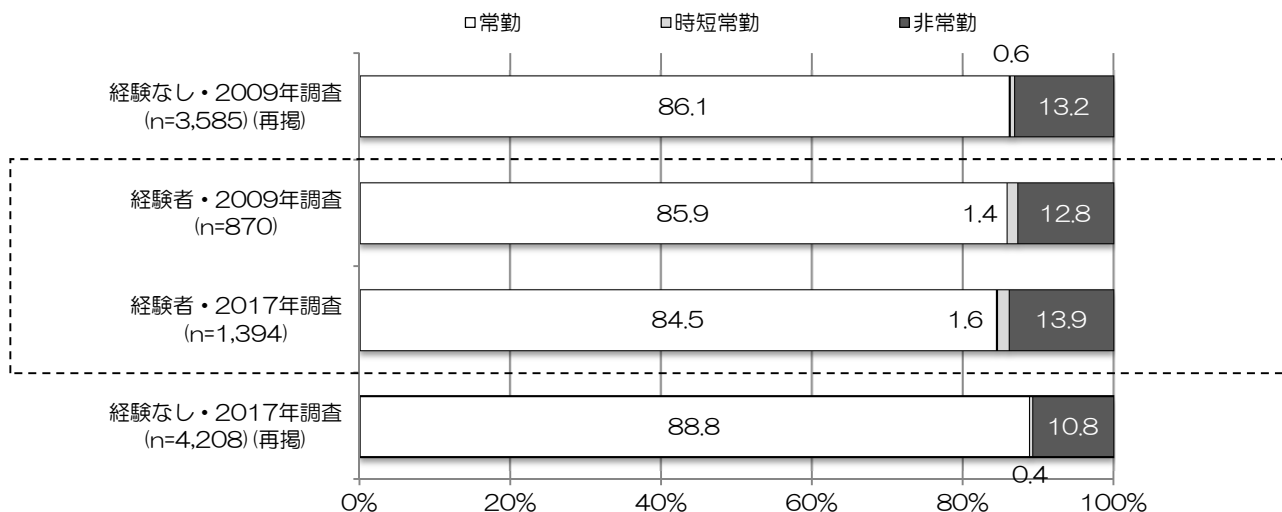
学童子育て中では常勤が2009年調査で76.5%、2017年調査で78.8%となっている。
 子育て経験者では常勤が2009年調査で85.9%、2017年調査で84.5%となっている。

図3-2-1-3 子育て状況別の勤務形態【学童】(2009年調査・2017年調査)



(無回答を除く)

図3-2-1-4 子育て状況別の勤務形態【経験者】(2009年調査・2017年調査)



(無回答を除く)

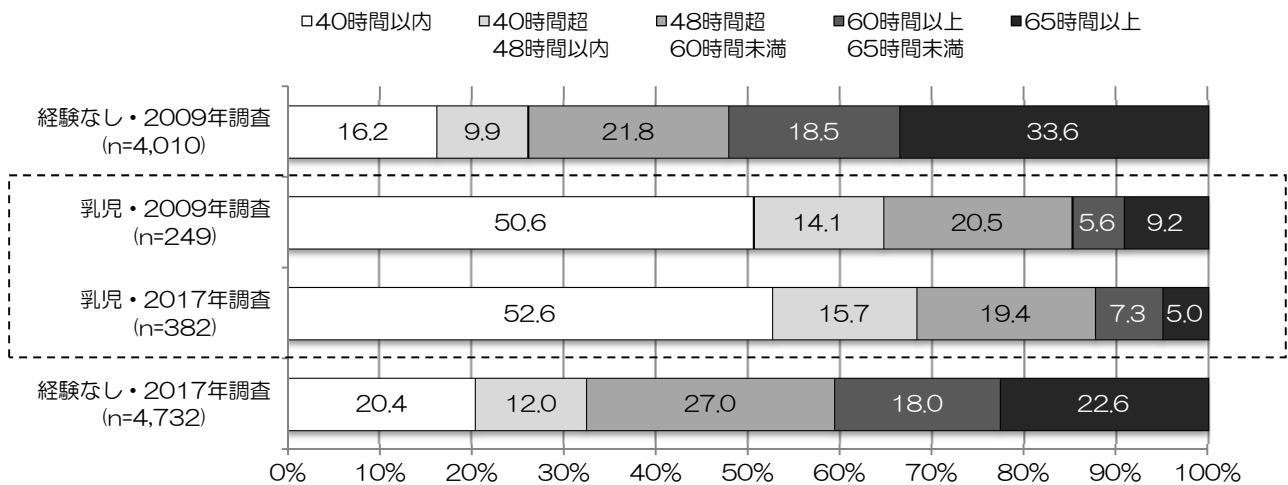
※現在の専門(診療科)、役職、卒業後年数をたずねた質問で「研修医」と回答した人は除いて集計した。

3-2-2. 子育て状況別の1週間の実勤務時間

子育て状況別に1週間の実勤務時間をみると、乳児子育て中では48時間を超える勤務が2009年調査で35.3%、2017年調査で31.7%となっている。

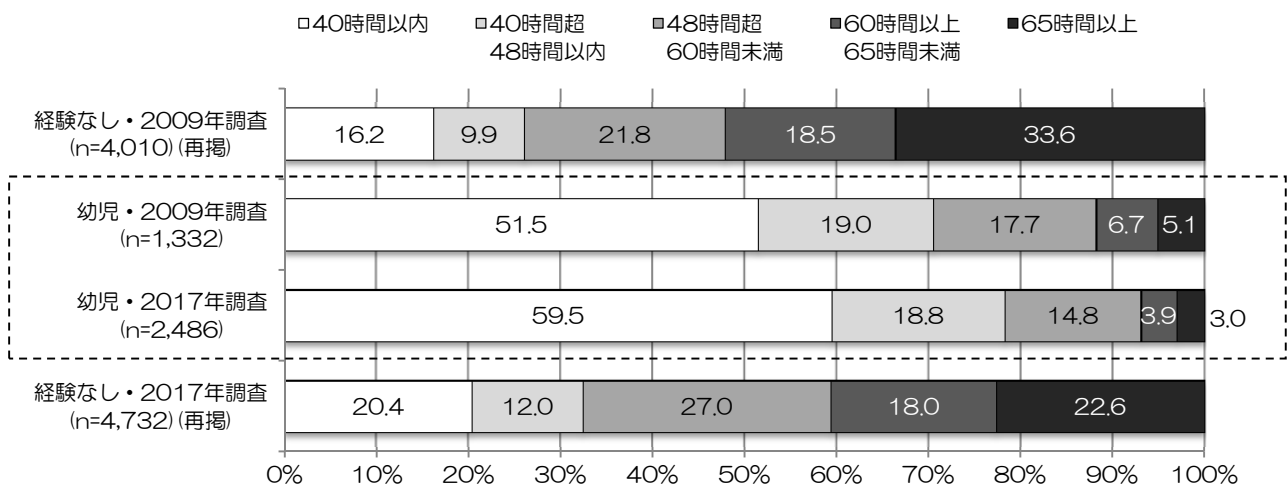
幼児子育て中では48時間を超える勤務が2009年調査で29.5%、2017年調査で21.8%となっている。

図3-2-2-1 子育て状況別の1週間の実勤務時間【乳児】(2009年調査・2017年調査)



(無回答を除く)

図3-2-2-2 子育て状況別の1週間の実勤務時間【幼児】(2009年調査・2017年調査)



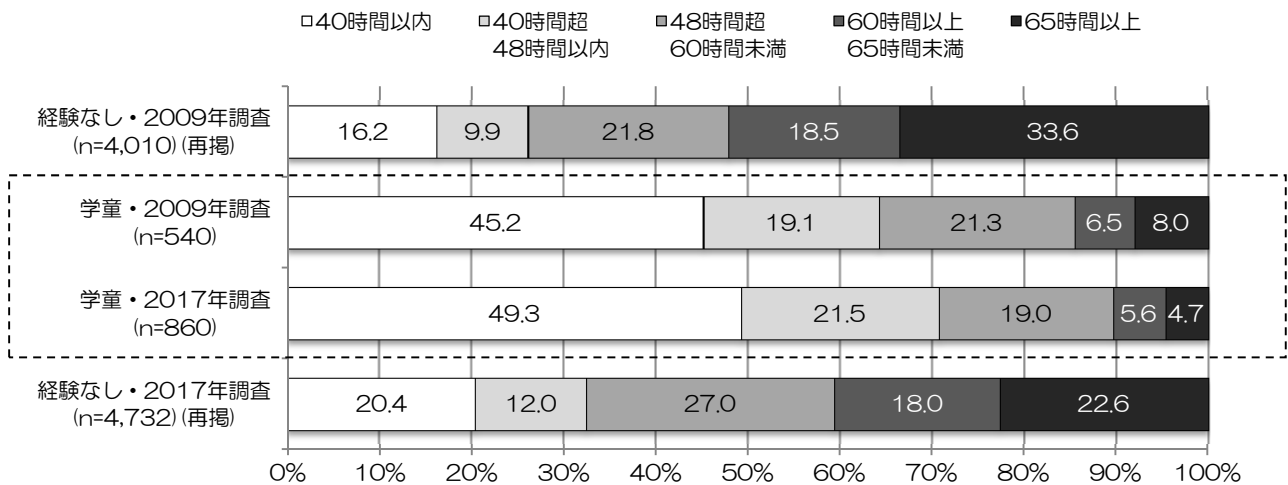
(無回答を除く)

※回答者には複数箇所勤務している人も含まれるが、実勤務時間の数え方は特に定義せず、回答者に委ねた。また、オンラインなどを勤務時間に数えるかなども回答者に委ねた。

学童子育て中では 48 時間を超える勤務が 2009 年調査で 35.7%、2017 年調査で 29.2%となっている。

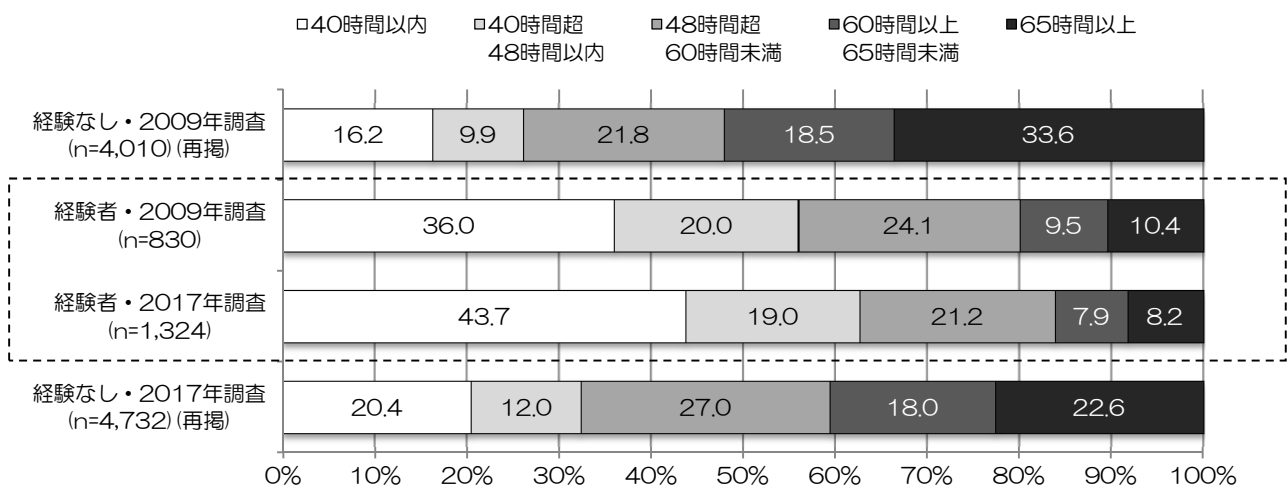
子育て経験者では 48 時間を超える勤務が 2009 年調査で 44.0%、2017 年調査で 37.3%となっている。

図 3-2-2-3 子育て状況別の 1 週間の実勤務時間【学童】(2009 年調査・2017 年調査)



(無回答を除く)

図 3-2-2-4 子育て状況別の 1 週間の実勤務時間【経験者】(2009 年調査・2017 年調査)



(無回答を除く)

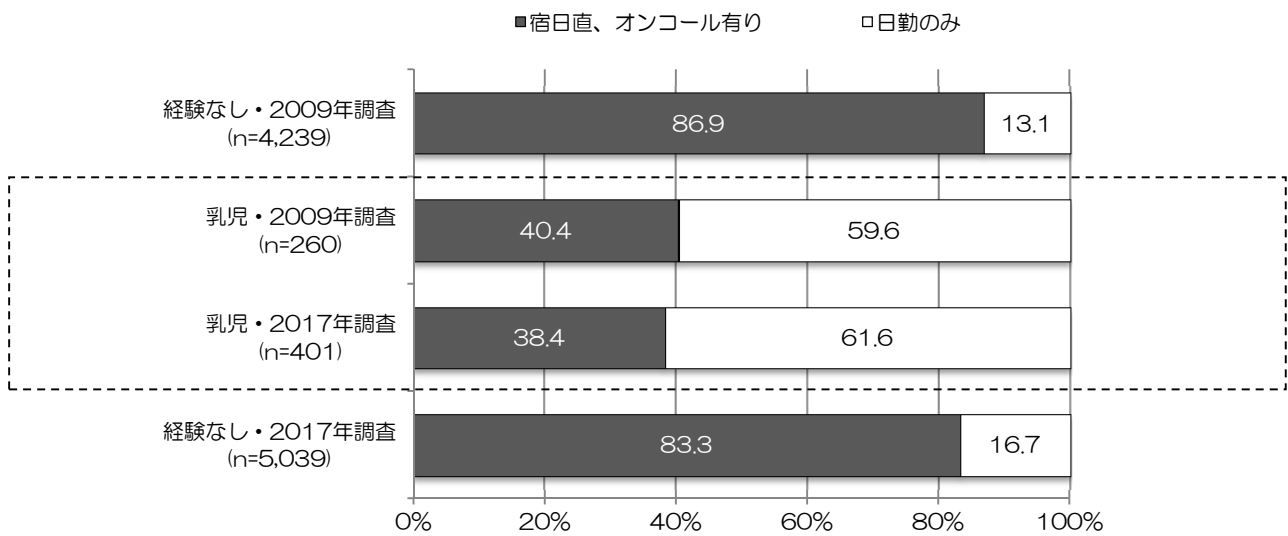
※回答者には複数箇所勤務している人も含まれるが、実勤務時間の数え方は特に定義せず、回答者に委ねた。また、オンラインなどを勤務時間に数えるかなども回答者に委ねた。

3-2-3. 子育て状況別の宿日直、オンコールの状況

子育て状況別に宿日直、オンコールの有無をみると、乳児子育て中では「宿日直、オンコール有り」が2009年調査で40.4%、2017年調査で38.4%となっている。

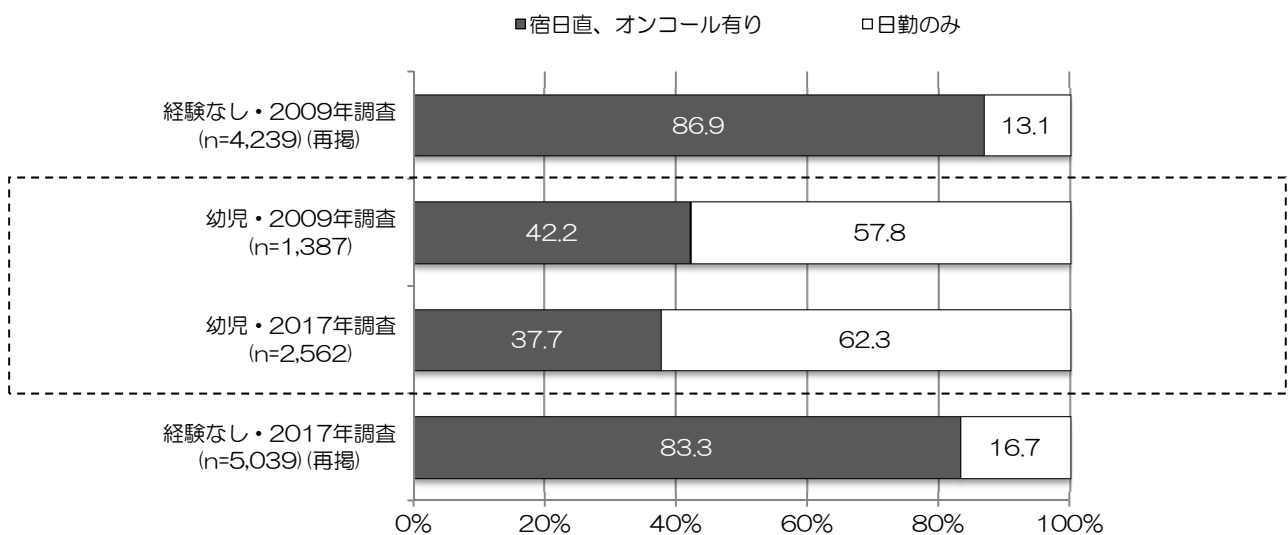
幼児子育て中では「宿日直、オンコール有り」が2009年調査で42.2%、2017年調査で37.7%となっている。

図 3-2-3-1 子育て状況別の宿日直、オンコールの状況【乳児】(2009年調査・2017年調査)



(無回答を除く)

図 3-2-3-2 子育て状況別の宿日直、オンコールの状況【幼児】(2009年調査・2017年調査)

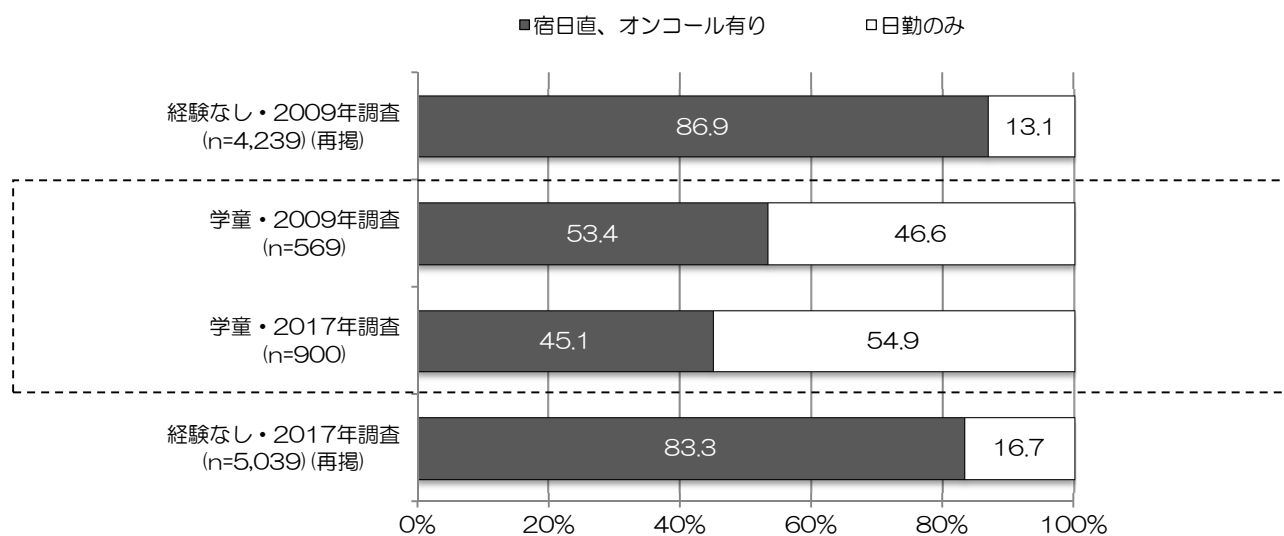


(無回答を除く)

学童子育て中では「宿日直、オンコール有り」が2009年調査で53.4%、2017年調査で45.1%となっている。

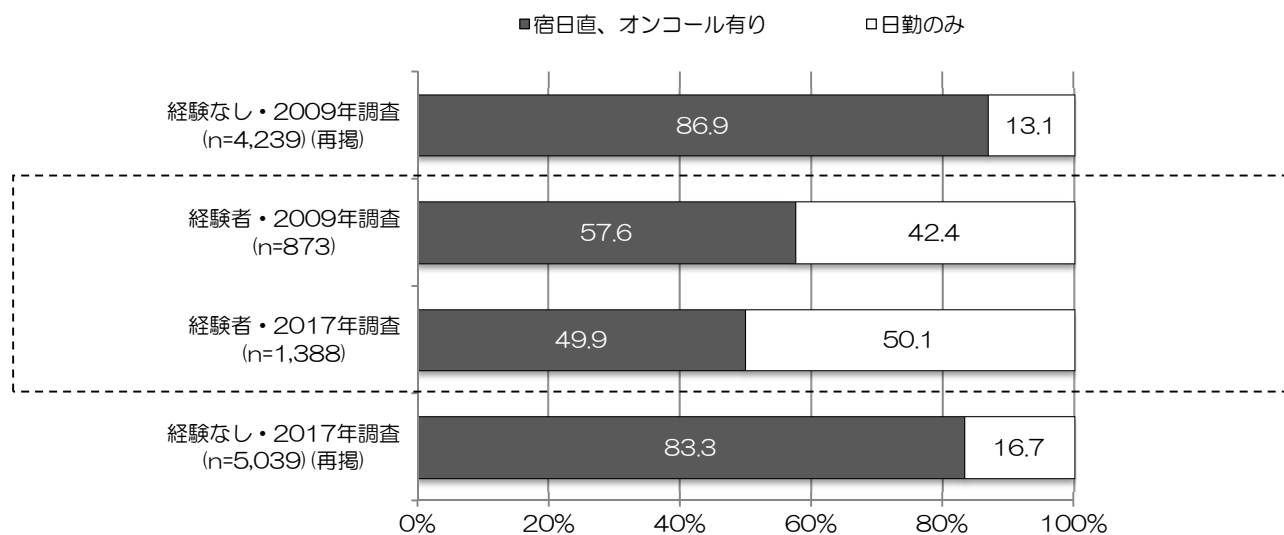
子育て経験者では「宿日直、オンコール有り」が2009年調査で57.6%、2017年調査で49.9%となっている。

図 3-2-3-3 子育て状況別の宿日直、オンコールの状況【学童】(2009年調査・2017年調査)



(無回答を除く)

図 3-2-3-4 子育て状況別の宿日直、オンコールの状況【経験者】(2009年調査・2017年調査)



(無回答を除く)

3-2-4. 子育て状況別の1か月の宿直回数

子育て状況別に1か月の宿直回数をみると、乳児子育て中では「なし」が2009年調査で74.7%、2017年調査で79.1%、1回以上の人が2009年調査で25.3%、2017年調査で20.9%となっている。

幼児子育て中では「なし」が2009年調査で73.2%、2017年調査で79.2%、1回以上の人が2009年調査で26.8%、2017年調査で20.8%となっている。

図 3-2-4-1 子育て状況別の1か月の宿直回数【乳児】(2009年調査・2017年調査)

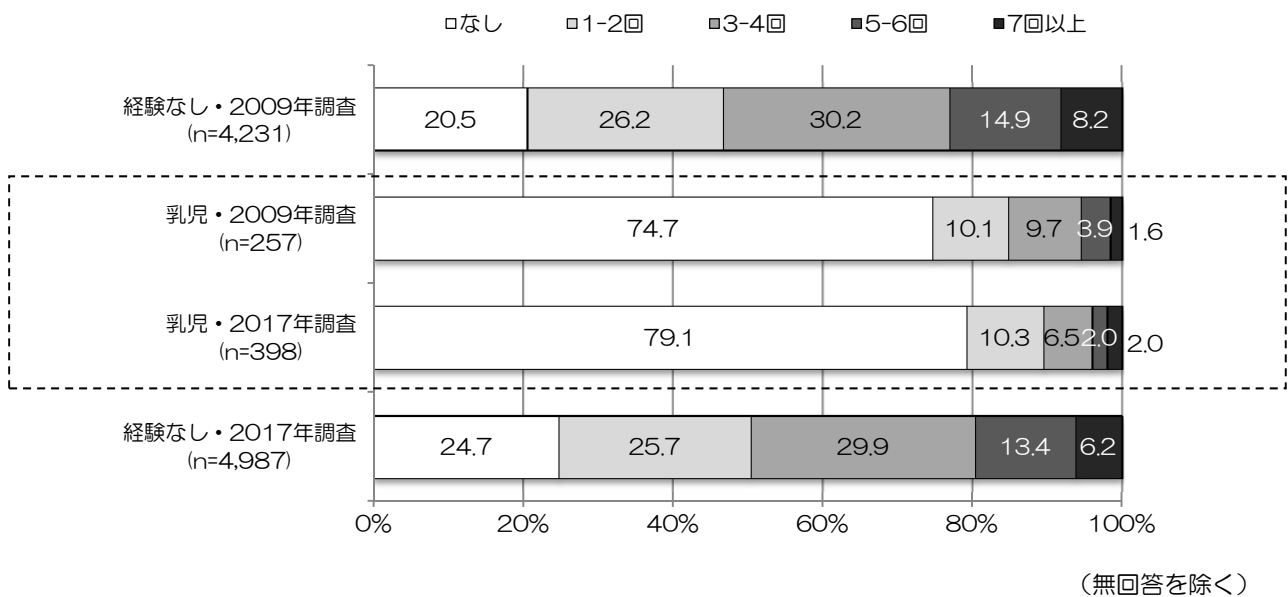
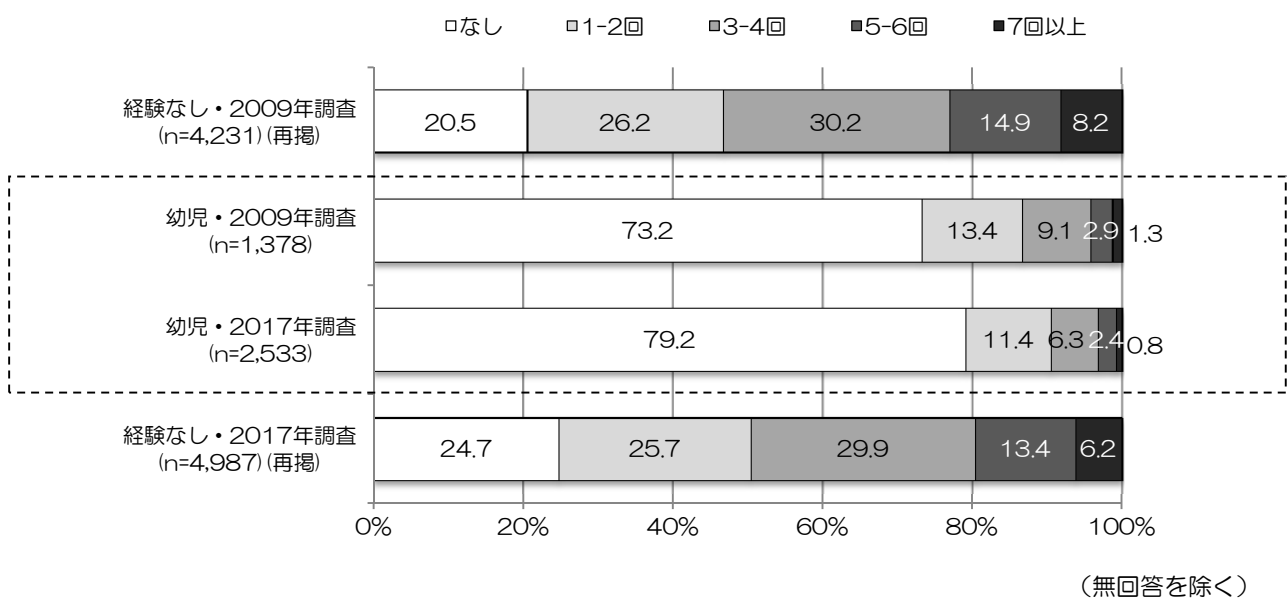


図 3-2-4-2 子育て状況別の1か月の宿直回数【幼児】(2009年調査・2017年調査)



学童子育て中では「なし」が2009年調査で64.7%、2017年調査で70.8%、1回以上の人が2009年調査で35.3%、2017年調査で29.2%となっている。

子育て経験者では「なし」が2009年調査で65.0%、2017年調査で69.4%、1回以上の人が2009年調査で35.0%、2017年調査で30.6%となっている。

図 3-2-4-3 子育て状況別の1か月の宿直回数【学童】(2009年調査・2017年調査)

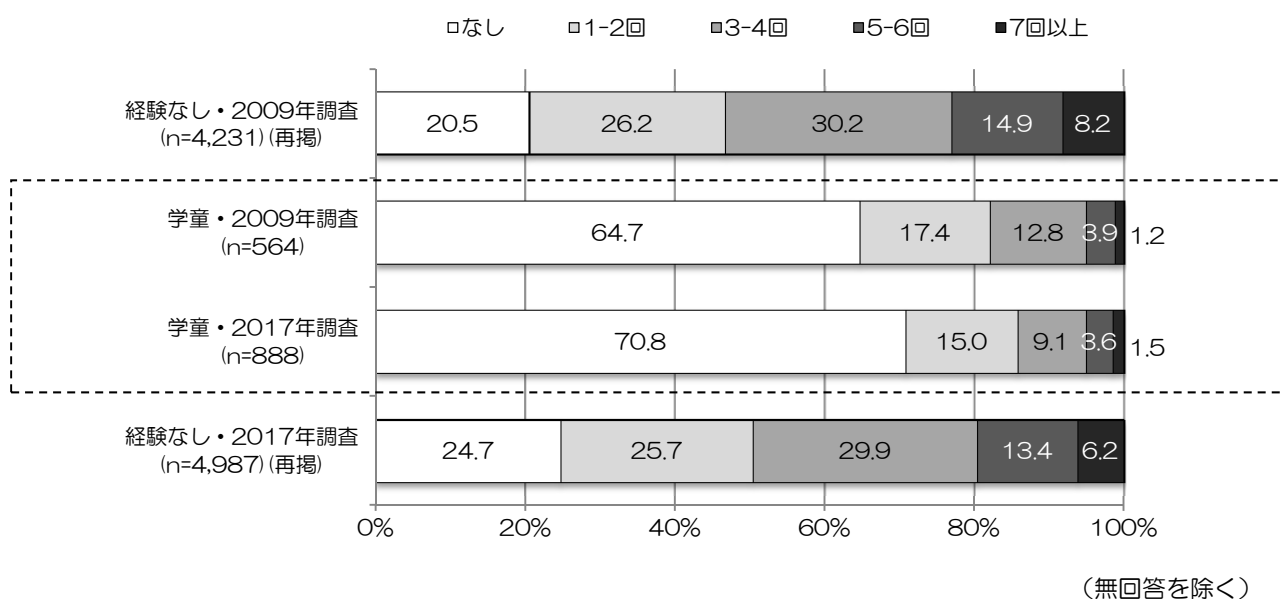
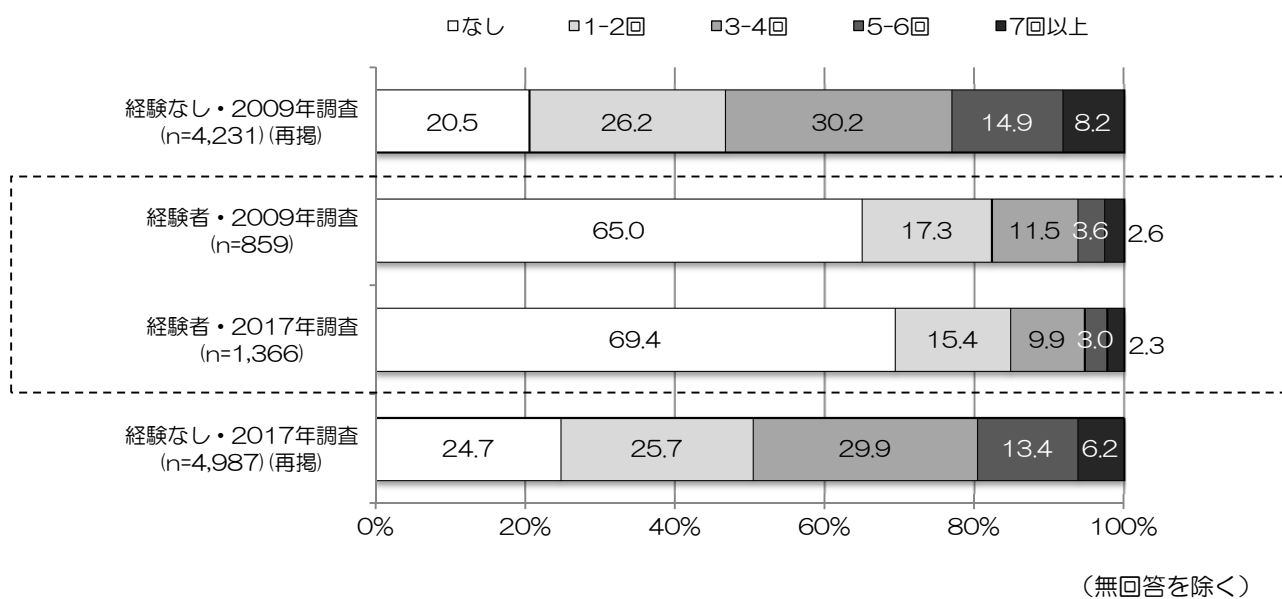


図 3-2-4-4 子育て状況別の1か月の宿直回数【経験者】(2009年調査・2017年調査)



3-2-5. 子育て状況別の宿直翌日の状況

宿直が月に1回以上ある人に、宿直翌日の状況をたずねたところ、乳児子育て中では通常勤務が2009年調査で81.5%、2017年調査で73.2%となっている。

幼児子育て中では通常勤務が2009年調査で80.7%、2017年調査で68.1%となっている。

図 3-2-5-1 子育て状況別の宿直翌日の状況【乳児】(2009年調査・2017年調査)

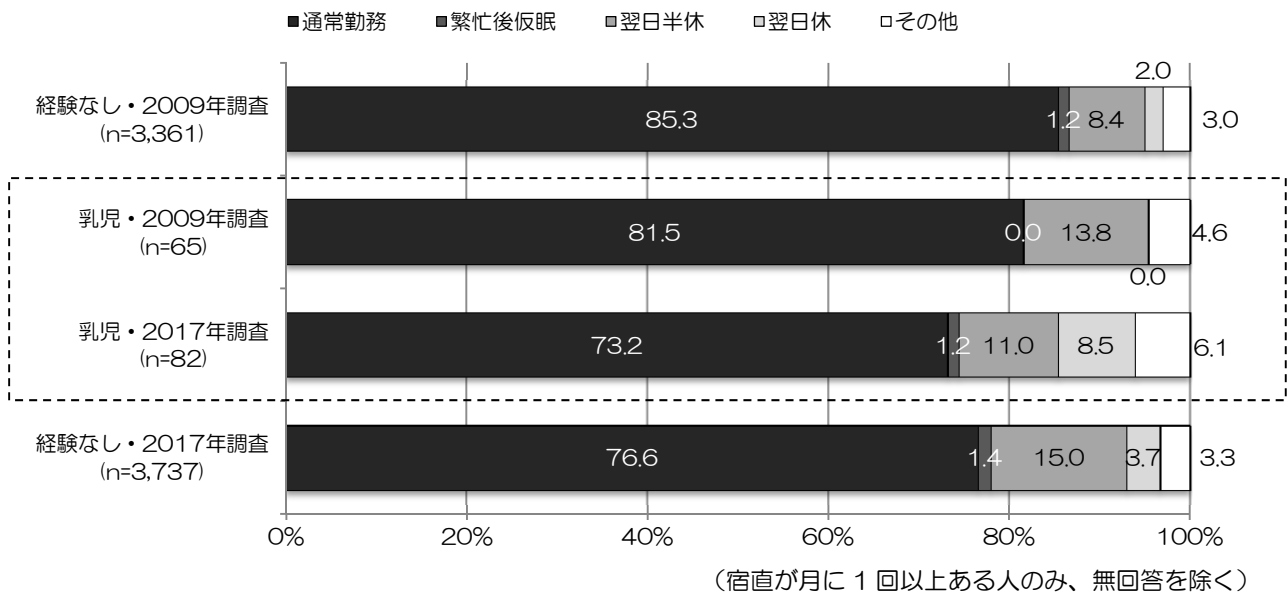
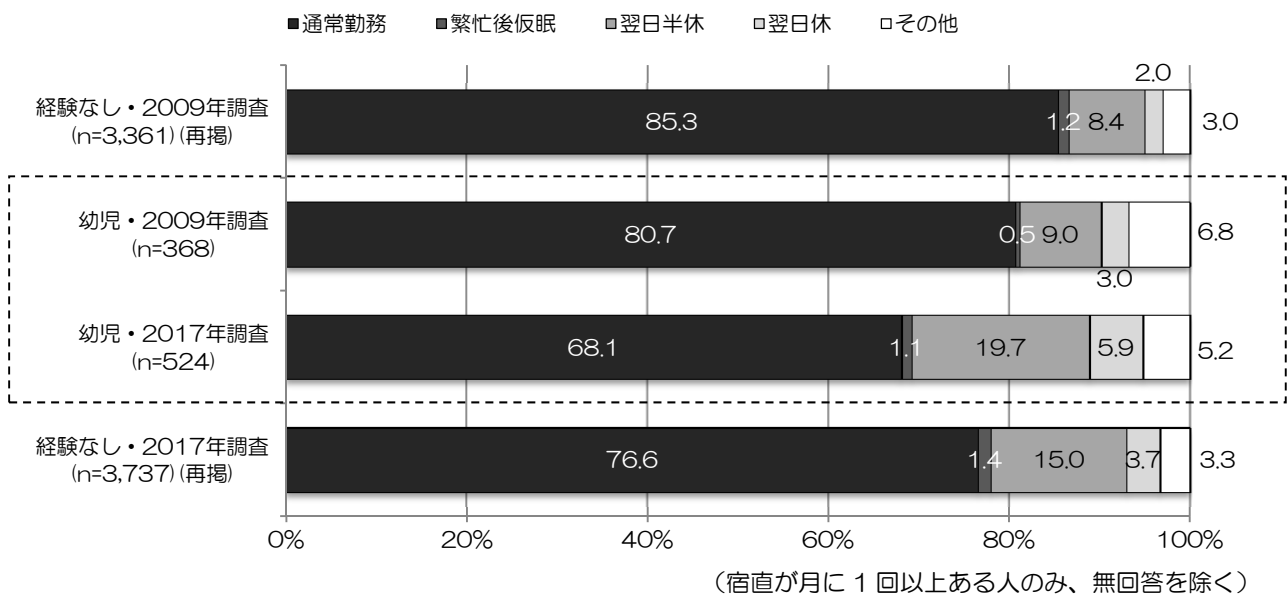


図 3-2-5-2 子育て状況別の宿直翌日の状況【幼児】(2009年調査・2017年調査)



学童子育て中では通常勤務が2009年調査で81.4%、2017年調査で73.8%となっている。
 子育て経験者では通常勤務が2009年調査で87.6%、2017年調査で79.7%となっている。

図 3-2-5-3 子育て状況別の宿直翌日の状況【学童】(2009年調査・2017年調査)

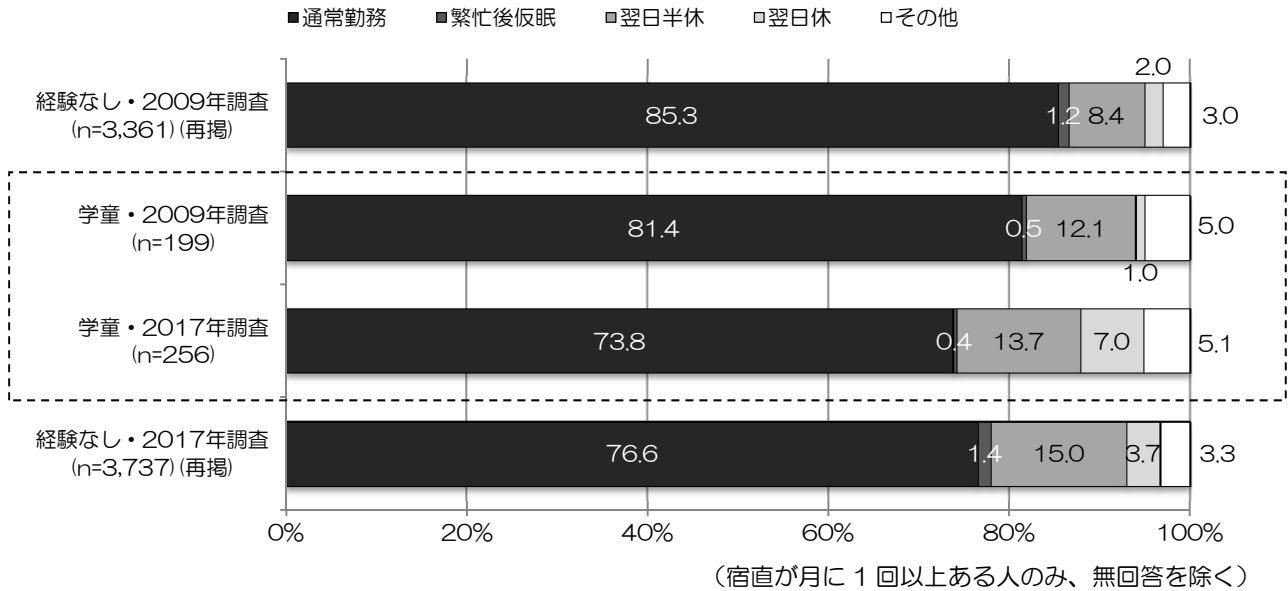
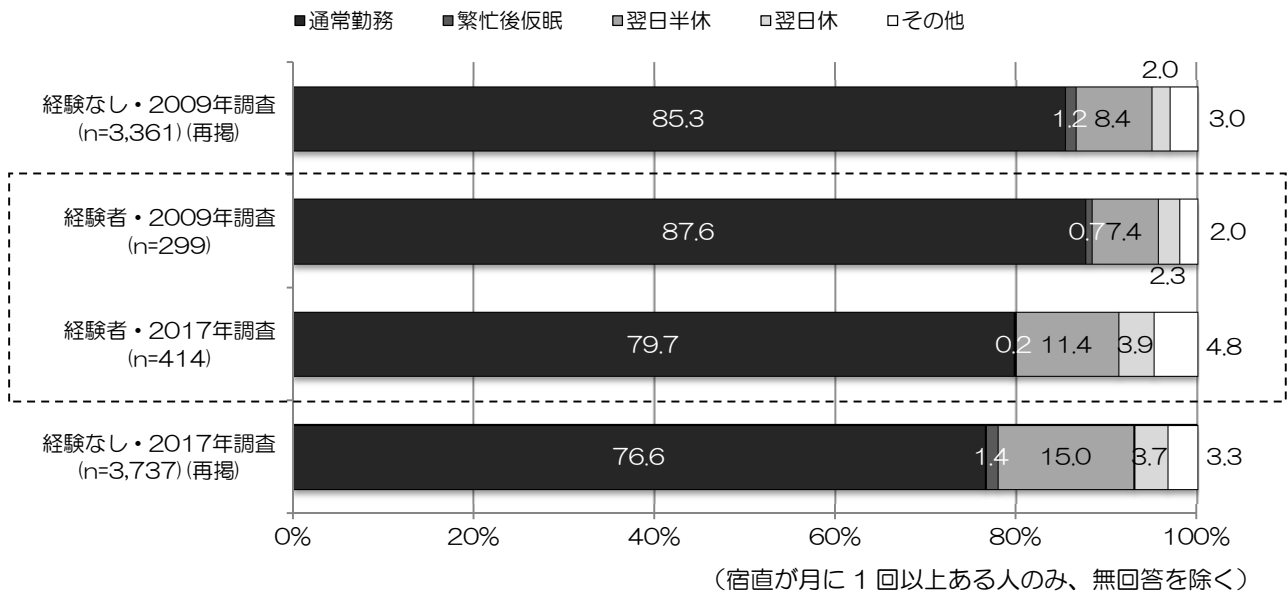


図 3-2-5-4 子育て状況別の宿直翌日の状況【経験者】(2009年調査・2017年調査)



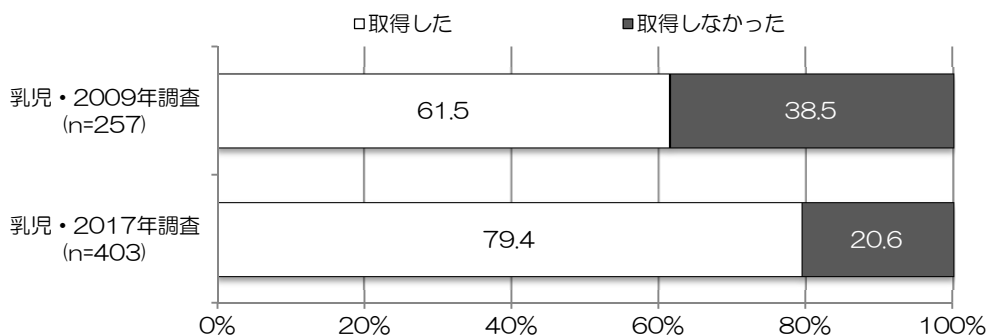
3-3. 子育てとの両立の状況

3-3-1. 育児休業の取得

育児休業の取得状況をたずねたところ、乳児子育て中では取得したと答えた人が 2009 年調査で 61.5%、2017 年調査で 79.4%となっている。

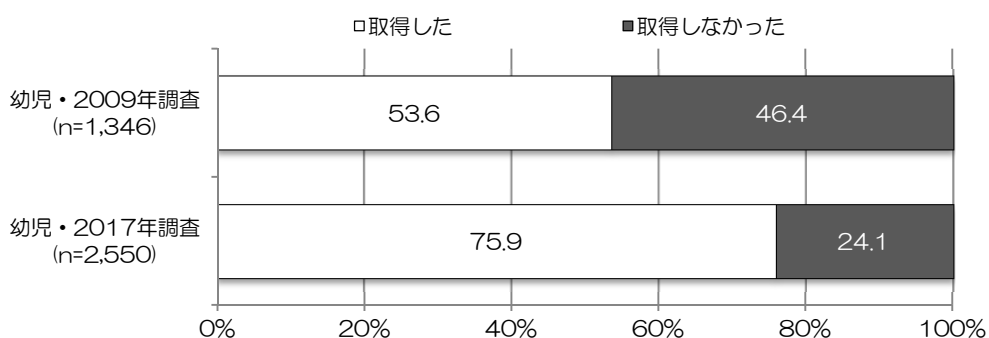
幼児子育て中では取得したと答えた人が 2009 年調査で 53.6%、2017 年調査で 75.9%となっている。

図 3-3-1-1 子育て状況別の育児休業の取得【乳児】(2009 年調査・2017 年調査)



(出産経験のある人で集計、無回答を除く)

図 3-3-1-2 子育て状況別の育児休業の取得【幼児】(2009 年調査・2017 年調査)

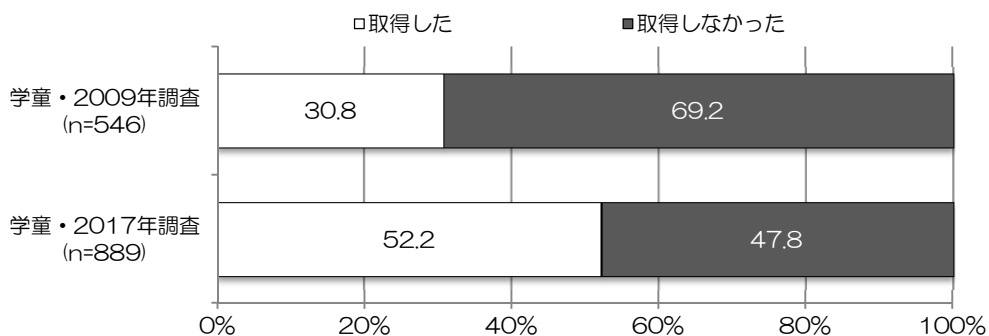


(出産経験のある人で集計、無回答を除く)

学童子育て中では取得したと答えた人が2009年調査で30.8%、2017年調査で52.2%となっている。

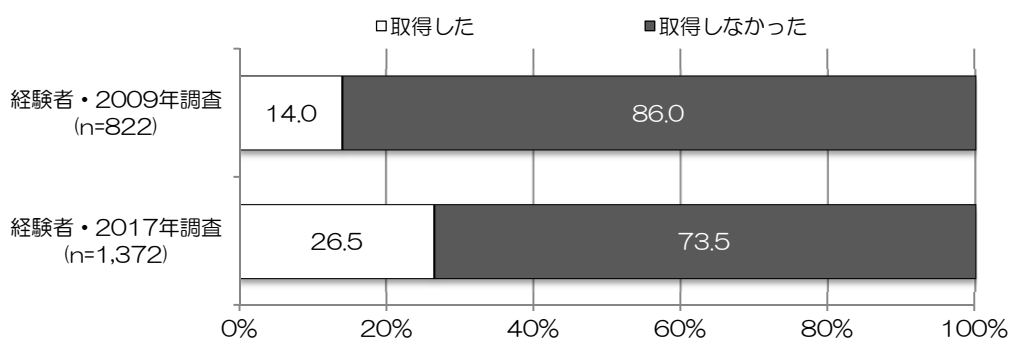
子育て経験者では取得したと答えた人が2009年調査で14.0%、2017年調査で26.5%となっている。

図 3-3-1-3 子育て状況別の育児休業の取得【学童】(2009年調査・2017年調査)



(出産経験のある人で集計、無回答を除く)

図 3-3-1-4 子育て状況別の育児休業の取得【経験者】(2009年調査・2017年調査)



(出産経験のある人で集計、無回答を除く)

3-3-2. 夫の育児・家事参加状況

夫の育児・家事への参加状況については、乳児子育て中では「十分・おおむね十分」が2009年調査で59.7%、2017年調査で61.7%となっている。

幼児子育て中では「十分・おおむね十分」が2009年調査で52.9%、2017年調査で56.7%となっている。

図 3-3-2-1 子育て状況別の夫の育児・家事参加状況【乳児】(2009年調査・2017年調査)

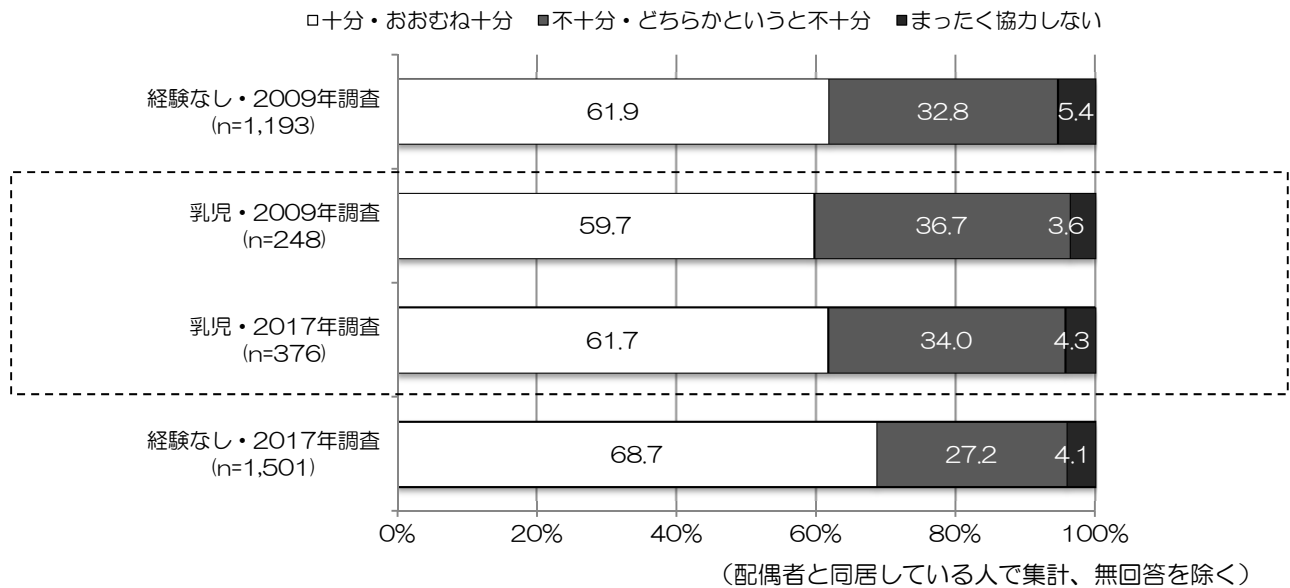
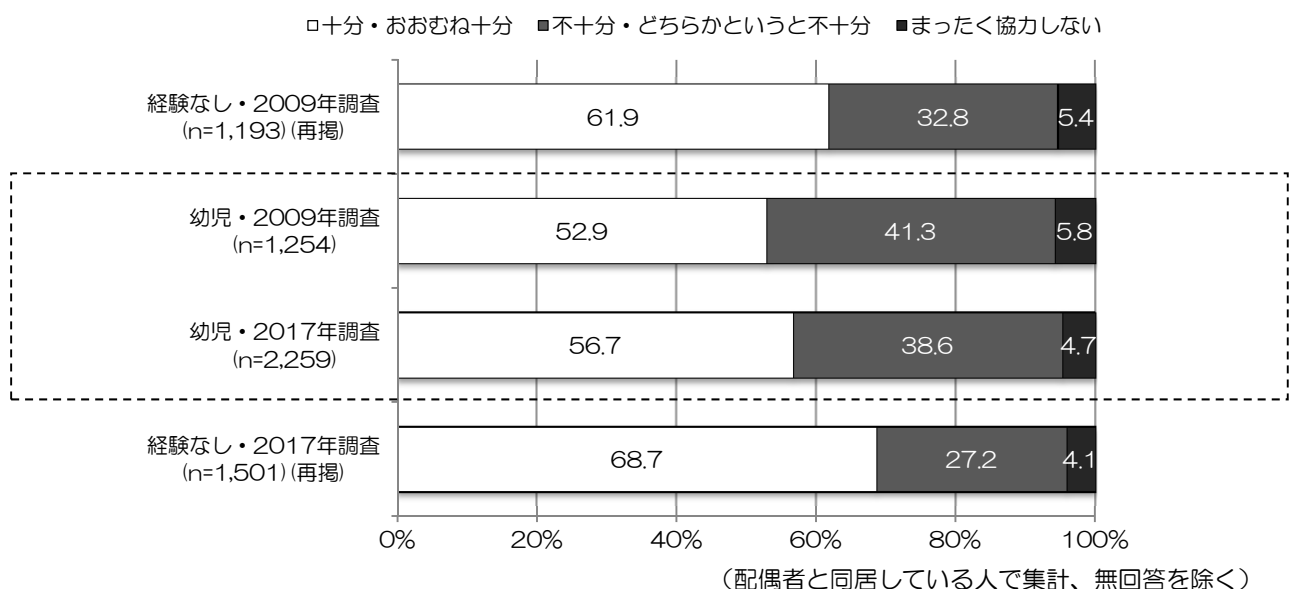


図 3-3-2-2 子育て状況別の夫の育児・家事参加状況【幼児】(2009年調査・2017年調査)



学童子育て中では「十分・おおむね十分」が2009年調査で46.5%、2017年調査で56.8%となっている。

子育て経験者では「十分・おおむね十分」が2009年調査で36.9%、2017年調査で42.9%となっている。

図 3-3-2-3 子育て状況別の夫の育児・家事参加状況【学童】(2009年調査・2017年調査)

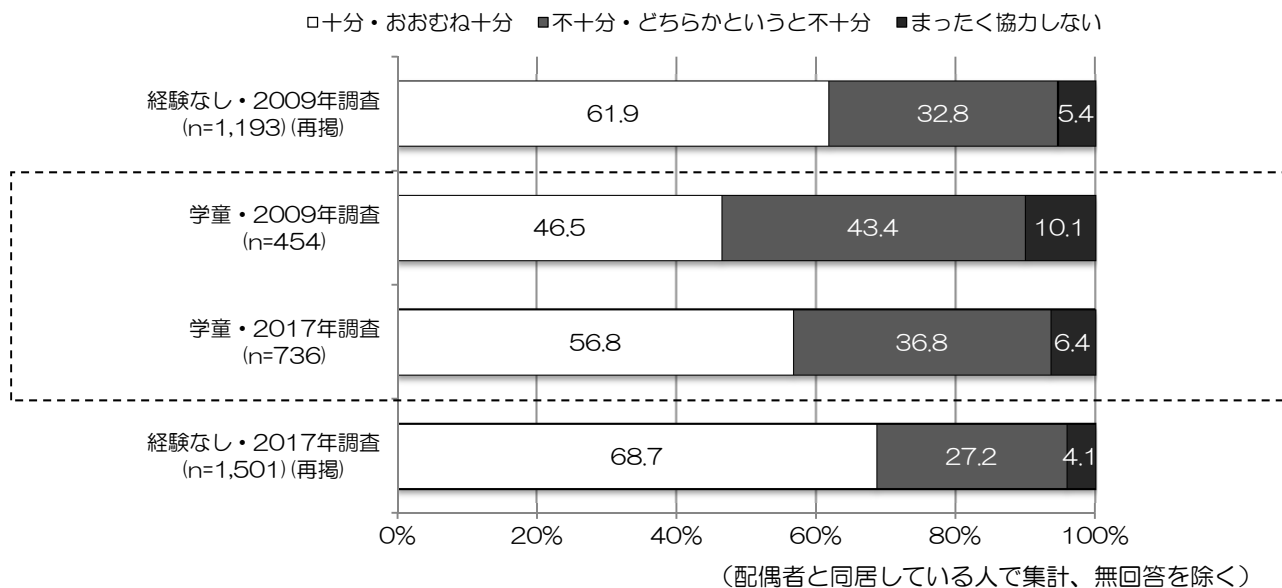
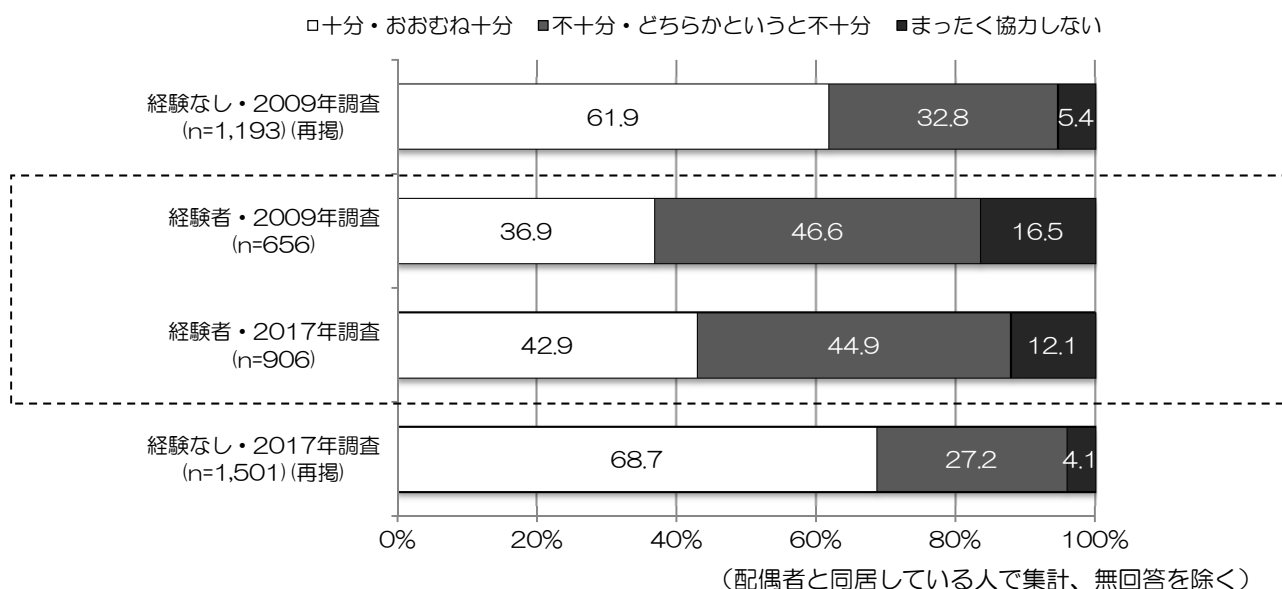


図 3-3-2-4 子育て状況別の夫の育児・家事参加状況【経験者】(2009年調査・2017年調査)

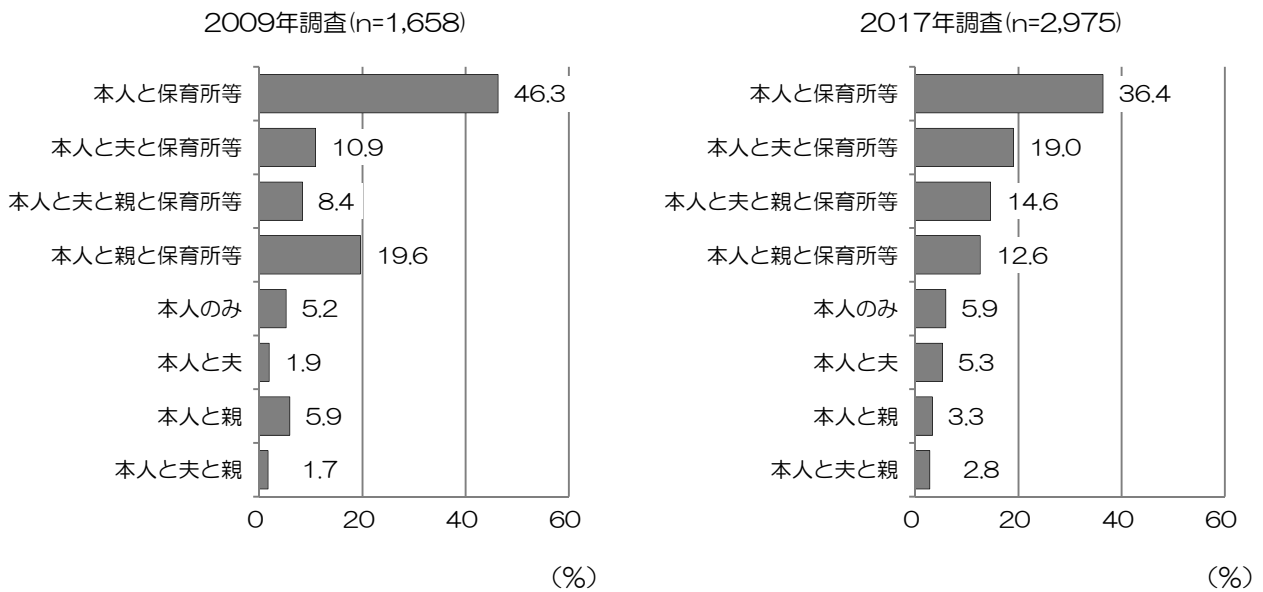


3-3-3. 「普段子どもの面倒をみている人」

普段子どもの面倒をみている人を複数回答でたずね、その組み合わせを乳幼児子育て中の回答者に絞って集計したところ、2009年調査では、「本人と保育所等」が46.3%、「本人と夫と保育所等」が10.9%、「本人と夫と親と保育所等」が8.4%、「本人と親と保育所等」が19.6%となっている。

2017年調査では、「本人と保育所等」が36.4%、「本人と夫と保育所等」が19.0%、「本人と夫と親と保育所等」が14.6%、「本人と親と保育所等」が12.6%となっている。

図 3-3-3 普段子どもの面倒をみている人（2009年調査・2017年調査）



(乳幼児子育て中の人で集計、無回答を除く)

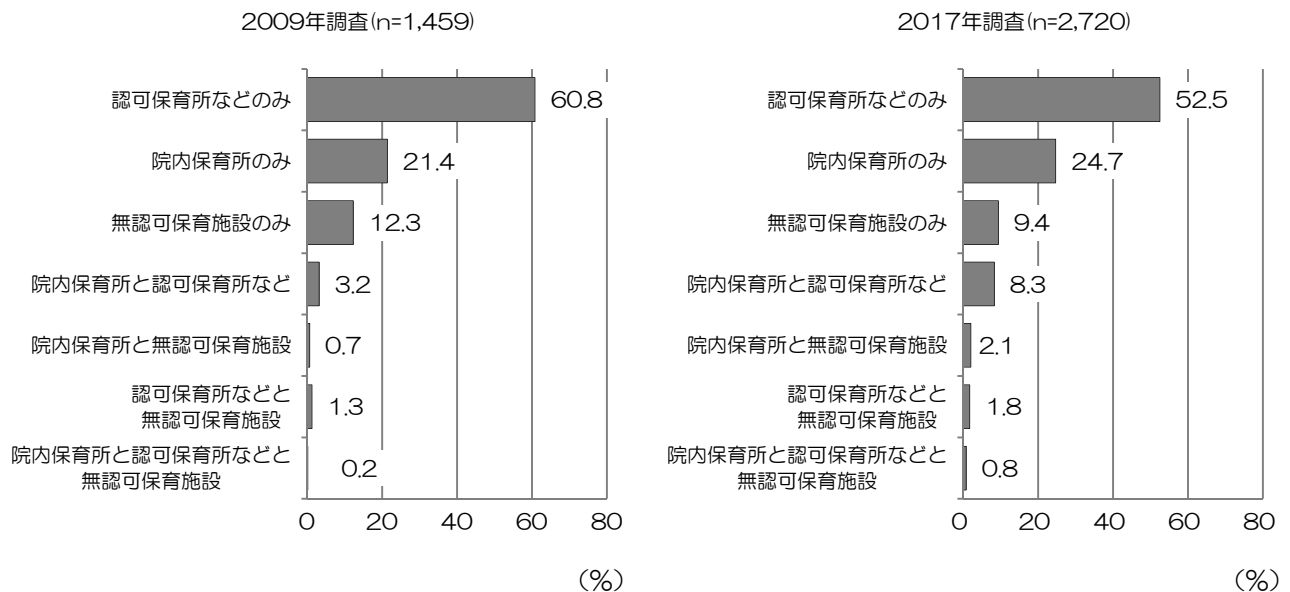
※調査では「普段子どもの面倒をみている人」を複数回答で挙げてもらったが、ここでは上記のように組み合わせで分類した。

3-3-4. 保育施設の状況

現在利用している保育施設を複数回答でたずね、その組み合わせを乳幼児子育て中の回答者に絞って集計したところ、2009年調査では、「認可保育所のみ」が60.8%、「院内保育所のみ」が21.4%、「無認可保育施設のみ」が12.3%、「院内保育所と認可保育所など」が3.2%となっている。

2017年調査では、「認可保育所のみ」が52.5%、「院内保育所のみ」が24.7%、「無認可保育施設のみ」が9.4%、「院内保育所と認可保育所など」が8.3%、となっている。

図 3-3-4 利用している保育施設（2009年調査・2017年調査）



（乳幼児子育て中の人で集計、無回答を除く）

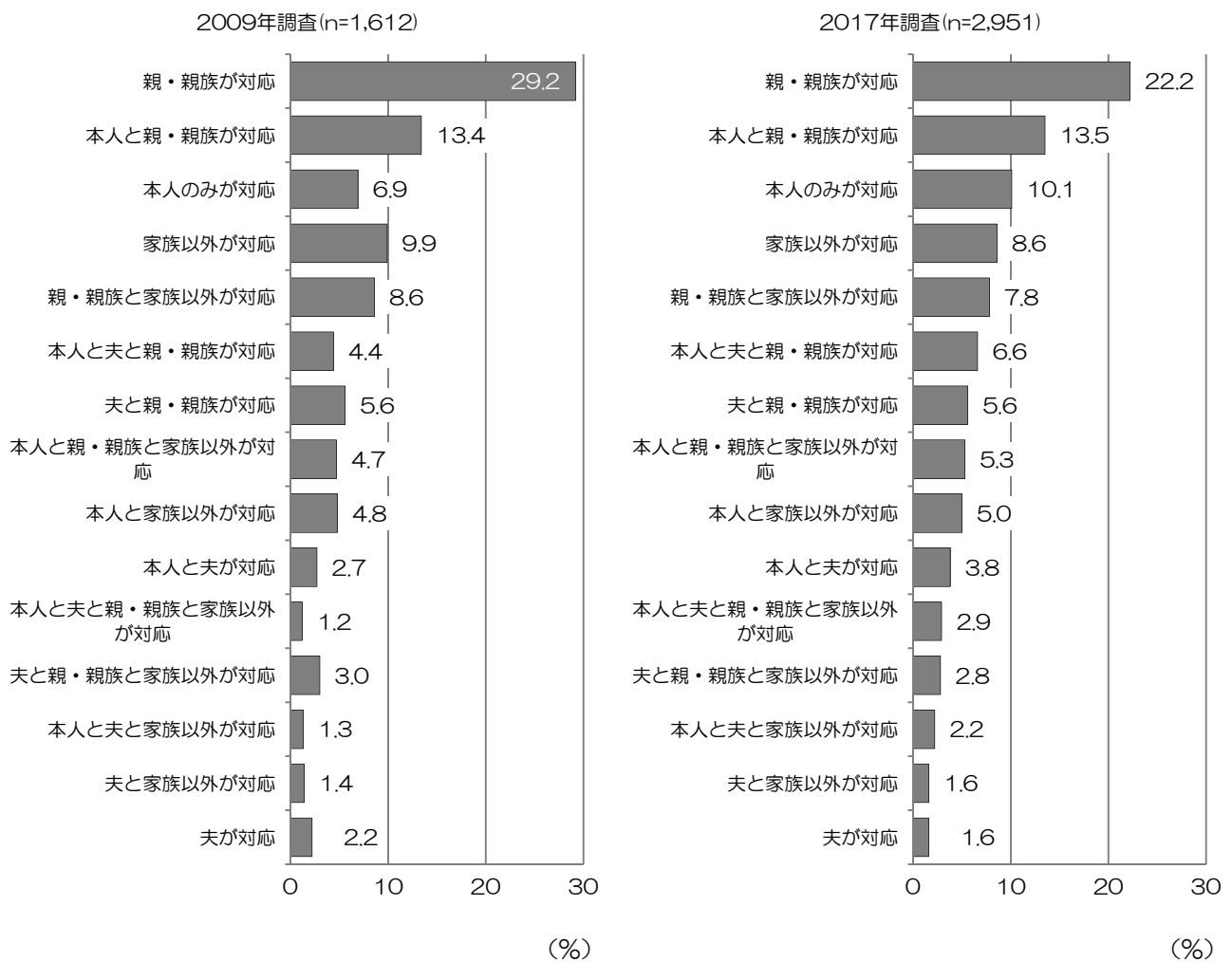
※調査では保育施設を複数回答で挙げてもらったが、ここでは上記のように組み合わせで分類した。「認可保育所など」には、認証保育所などの自治体独自基準の保育所や、認定こども園、幼稚園（預かり保育）などを含めた。「無認可保育施設」には、院内保育所や認可保育所など以外の保育施設を含めた。なお、2009年調査の設問文は「保育施設をご利用の方は次のうちのどの施設を利用していますか?」、2017年調査の設問文は「保育施設をご利用の方は次のうちのどの施設を利用していますか?（複数回答可）」となっている。

3-3-5. 子どもの緊急時の対応

子どもの発熱など緊急時の対応について複数回答でたずね、その組み合わせを乳幼児子育て中の回答者に絞って集計したところ、2009年調査では「親・親族が対応」が29.2%、「本人と親・親族が対応」が13.4%、「本人のみが対応」が6.9%となっている。

2017年調査では「親・親族が対応」が22.2%、「本人と親・親族が対応」が13.5%、「本人のみが対応」が10.1%となっている。

図 3-3-5 子どもの緊急時の対応（2009年調査・2017年調査）



(乳幼児子育て中の人で集計、無回答を除く)

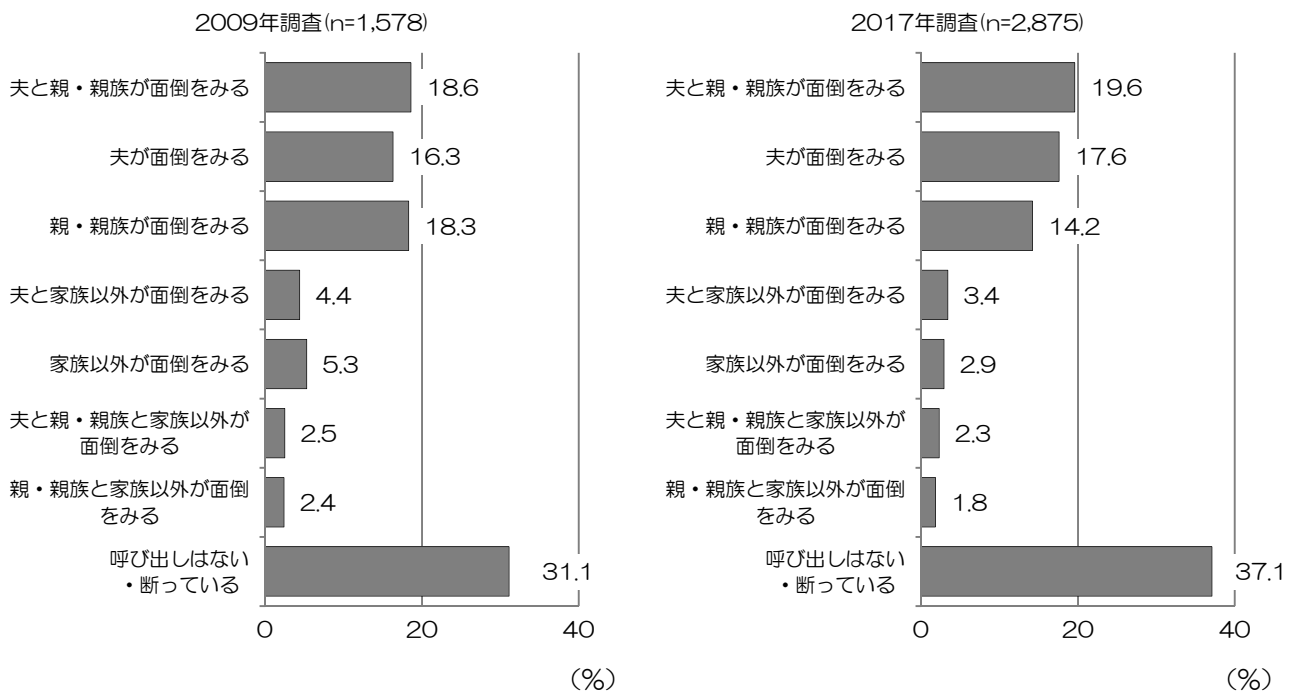
※調査では対応や預け先を複数回答で挙げてもらったが、ここでは上記のように組み合わせで分類した。「本人」には、欠勤・休暇・早退・遅刻などで対応すると答えた人を分類した。「家族以外」には、友人・知人・ベビーシッター・病児保育などと答えた人を分類した。

3-3-6. 緊急呼び出し時の対応

病院からの緊急呼び出しへの対応について複数回答でたずね、その組み合わせを乳幼児子育て中の回答者に絞って集計したところ、2009年調査では「夫と親・親族が面倒をみる」が18.6%、「夫が面倒をみる」が16.3%、「親・親族が面倒をみる」が18.3%、「呼び出しはない・断っている」が31.1%となっている。

2017年調査では「夫と親・親族が面倒をみる」が19.6%、「夫が面倒をみる」が17.6%、「親・親族が面倒をみる」が14.2%、「呼び出しはない・断っている」が37.1%となっている。

図 3-3-6 緊急呼び出し時の対応（2009年調査・2017年調査）



（乳幼児子育て中の人で集計、無回答を除く）

※調査では対応や預け先を複数回答で挙げてもらったが、ここでは上記のように組み合わせで分類した。「家族以外」には、友人・知人・ベビーシッター・子どもを病院に連れていくなどと答えた人を分類した。「呼び出しはない・断っている」には、呼び出しはない・断る・行けないので他の医師に依頼するのいずれかのみを答えた人を分類した。

IV. 男女共同参画に関する変化

4-1. 女性医師の悩み

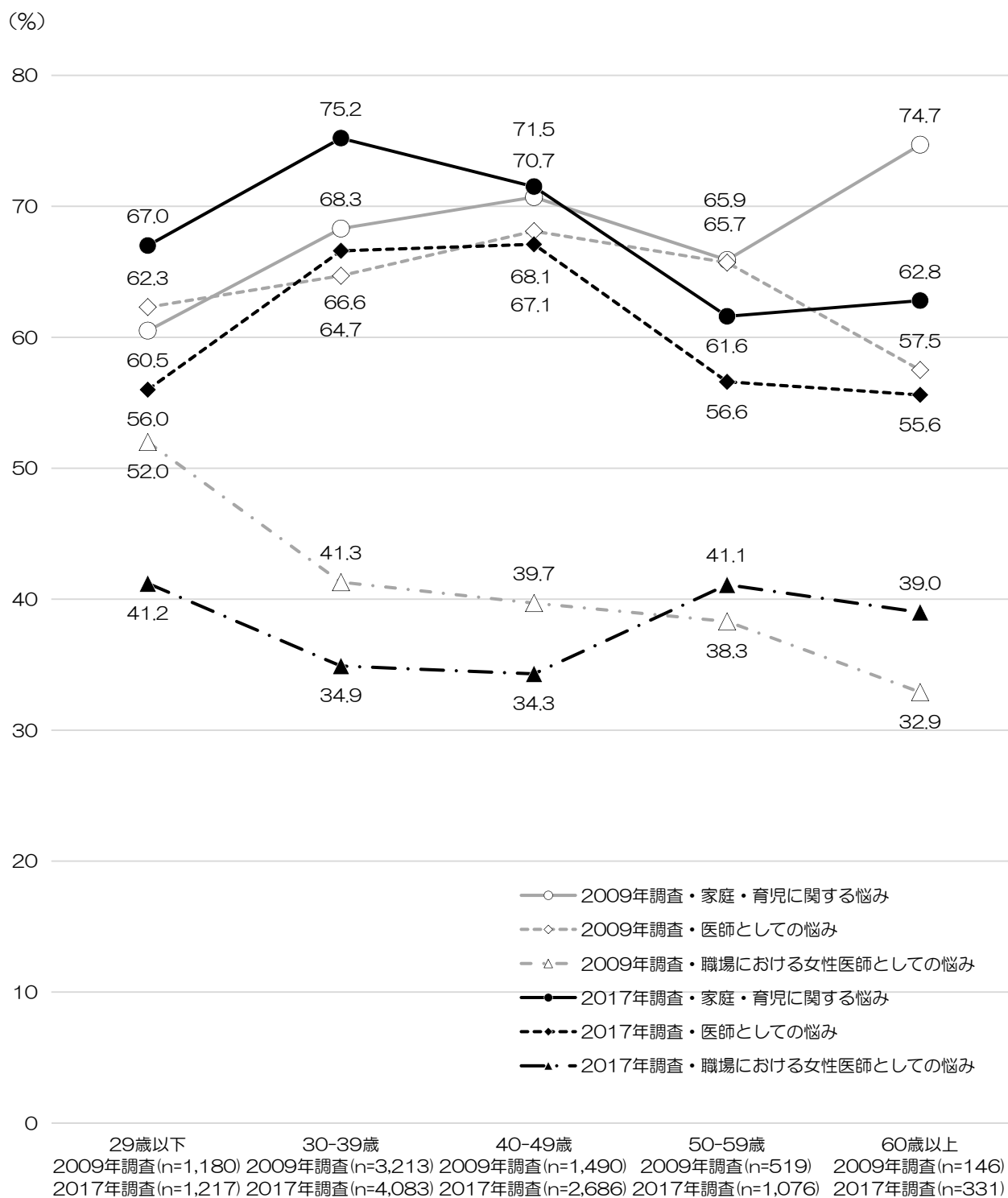
4-1-1. 年齢階級別にみた女性医師の悩み

女性医師としてどのような悩みがあるかを複数回答でたずね、回答を「家庭・育児に関する悩み」、「医師としての悩み」、「職場における女性医師としての悩み」に大きく分類したところ、「家庭・育児に関する悩み」は2009年調査では29歳以下で60.5%、30-39歳で68.3%、40-49歳で70.7%、50-59歳で65.9%、60歳以上で74.7%、2017年調査では29歳以下で67.0%、30-39歳で75.2%、40-49歳で71.5%、50-59歳で61.6%、60歳以上で62.8%となっている。

「医師としての悩み」は2009年調査では29歳以下で62.3%、30-39歳で64.7%、40-49歳で68.1%、50-59歳で65.7%、60歳以上で57.5%、2017年調査では29歳以下で56.0%、30-39歳で66.6%、40-49歳で67.1%、50-59歳で56.6%、60歳以上で55.6%となっている。

「職場における女性医師としての悩み」は2009年調査では29歳以下で52.0%、30-39歳で41.3%、40-49歳で39.7%、50-59歳で38.3%、60歳以上で32.9%、2017年調査では29歳以下で41.2%、30-39歳で34.9%、40-49歳で34.3%、50-59歳で41.1%、60歳以上で39.0%となっている。

図 4-1-1 年齢階級別にみた女性医師の悩み（2009年調査・2017年調査）



（無回答を除く）

※「家庭・育児に関する悩み」には、選択肢回答「1.家事と仕事の両立」「7.配偶者の非協力・無理解」「8.配偶者の家族の無理解」および「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに分類した。

「医師としての悩み」には、選択肢回答「2.プライベートな時間がない」「3.勉強する時間が少ない」および「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに分類した。

「職場における女性医師としての悩み」には、選択肢回答「4.当直室・更衣室・休憩室などの施設環境の不備」「5.男性主導社会」「6.セクハラ」および「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに分類した。

4-1-2. 年齢階級別にみた家庭・育児に関する悩み

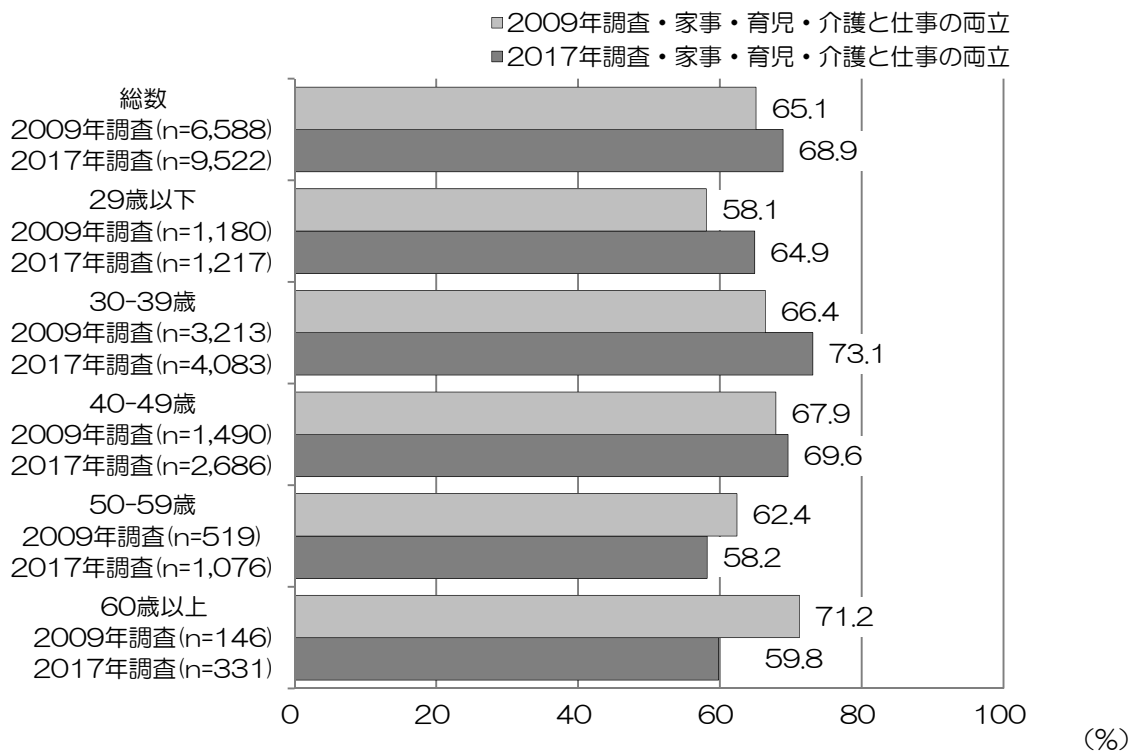
家庭・育児に関する悩みの詳細をみると、「家事・育児・介護と仕事の両立」は2009年調査では30-39歳で66.4%、40-49歳で67.9%、2017年調査では30-39歳で73.1%、40-49歳で69.6%となっている。

「配偶者の非協力・無理解」は2009年調査では50-59歳で15.2%、60歳以上で12.3%、2017年調査では50-59歳で12.8%、60歳以上で15.7%となっている。

「配偶者の家族の無理解」は2009年調査では50-59歳で6.6%、60歳以上で3.4%、2017年調査では50-59歳で4.7%、60歳以上で6.6%となっている。

「結婚・出産・不妊治療」は2009年調査では29歳以下で2.6%、30-39歳で2.1%、2017年調査では29歳以下で2.1%、30-39歳で2.6%となっている。

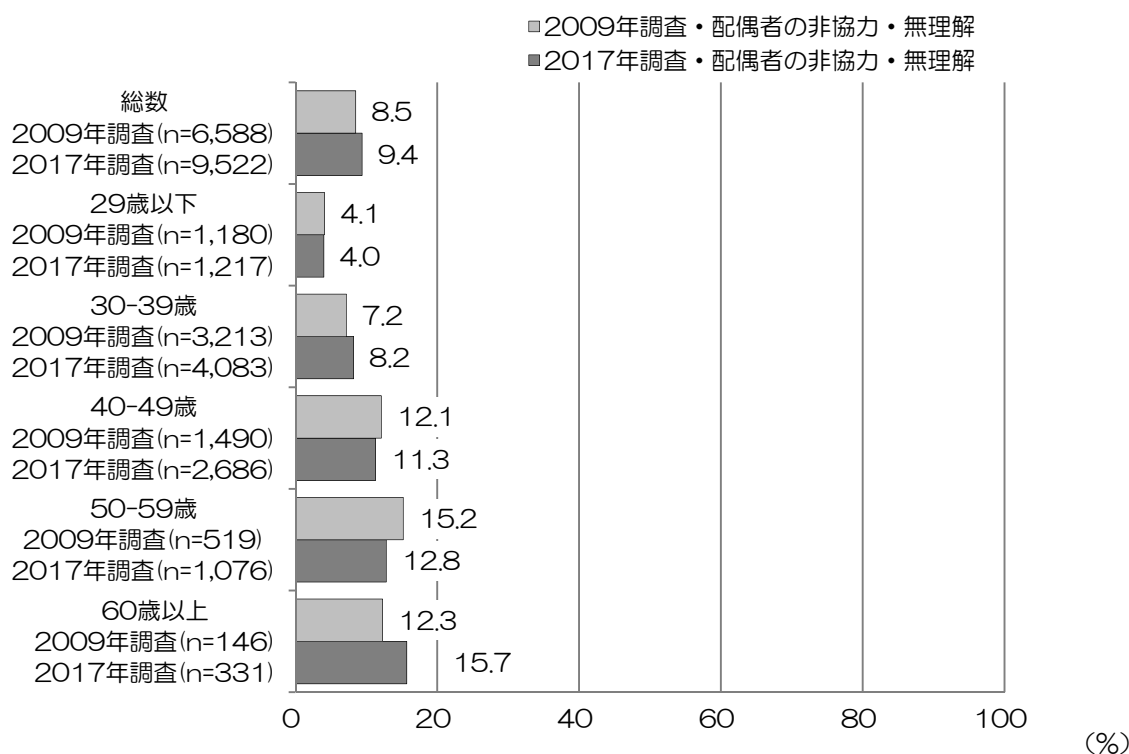
図 4-1-2-1 年齢階級別にみた家庭・育児に関する悩み【家庭・育児・介護と仕事の両立】
(2009年調査・2017年調査)



※選択肢回答「1.家事と仕事の両立」および「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに分類した。

(無回答を除く)

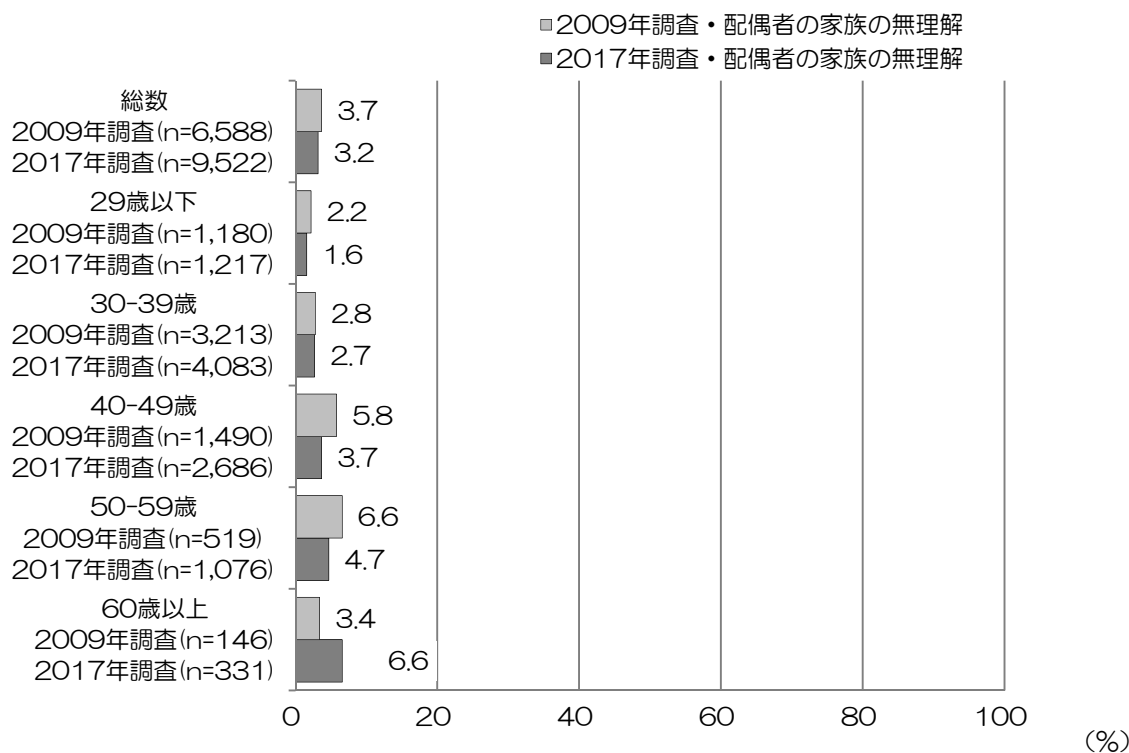
図 4-1-2-2 年齢階級別にみた家庭・育児に関する悩み【配偶者の非協力・無理解】（2009年調査・2017年調査）



※選択肢回答「7.配偶者の非協力・無理解」および「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに分類した。

(無回答を除く)

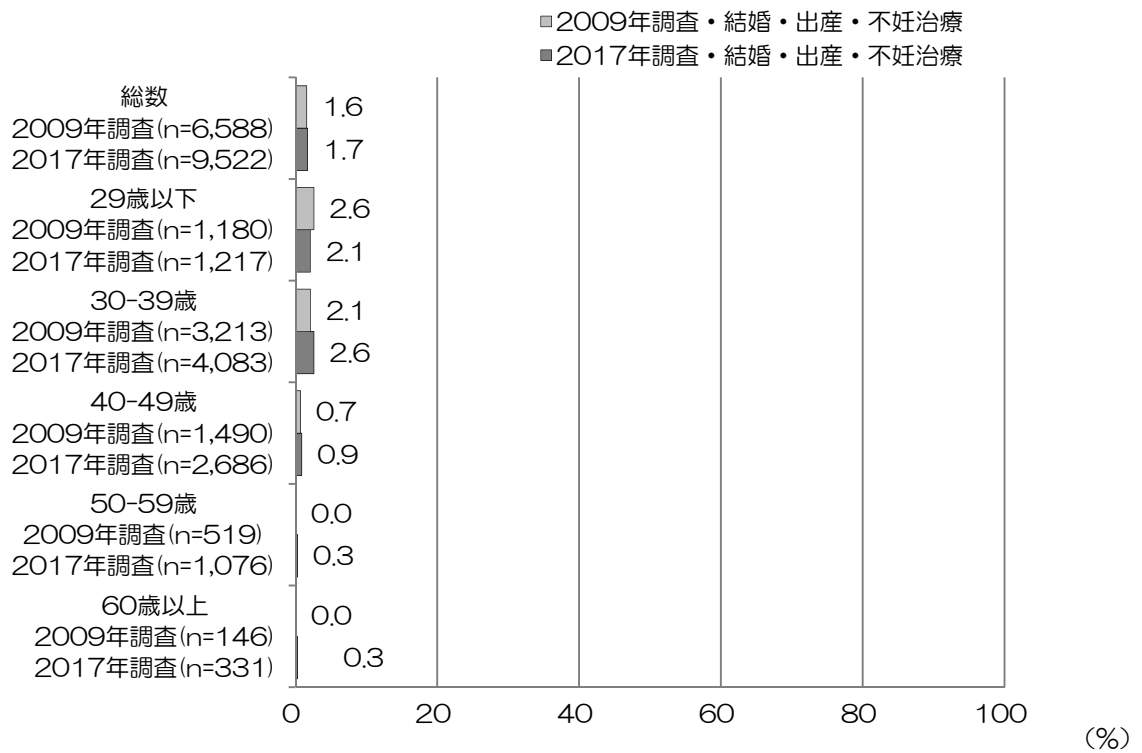
図 4-1-2-3 年齢階級別にみた家庭・育児に関する悩み【配偶者の家族の無理解】（2009年調査・2017年調査）



※選択肢回答「8.配偶者の家族の無理解」および「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに分類した。

(無回答を除く)

図 4-1-2-4 年齢階級別にみた女性医師の悩み【結婚・出産・不妊治療】(2009年調査・2017年調査)



※「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに分類した。

(無回答を除く)

4-1-3. 年齢階級別にみた医師としての悩み

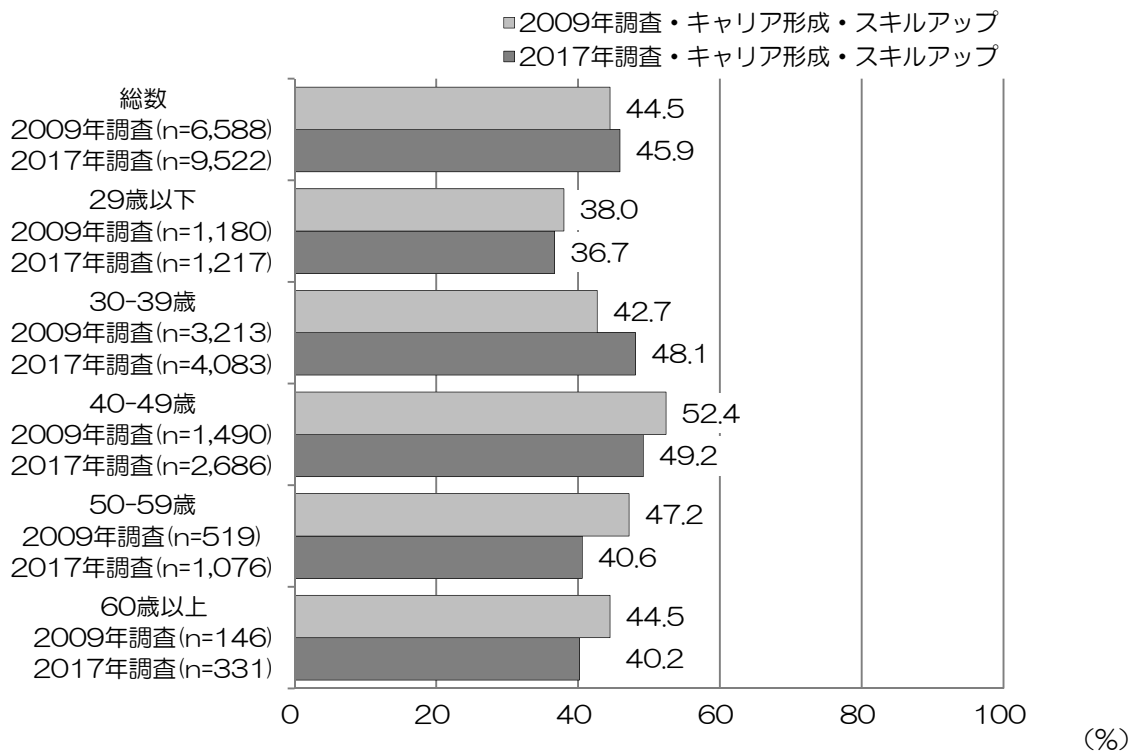
医師としての悩みの詳細をみると、「キャリア形成・スキルアップ」は2009年調査では30-39歳で42.7%、40-49歳で52.4%、2017年調査では30-39歳で48.1%、40-49歳で49.2%となっている。

「プライベートな時間がない」は2009年調査では30-39歳で45.1%、40-49歳で43.8%、2017年調査では30-39歳で44.0%、40-49歳で41.9%となっている。

「業務量・体力面・評価等」は2009年調査では40-49歳で2.9%、50-59歳で1.0%、2017年調査では40-49歳で3.6%、50-59歳で3.6%となっている。

「患者に関して」は2009年調査では29歳以下で0.2%、2017年調査では29歳以下で0.5%となっている。

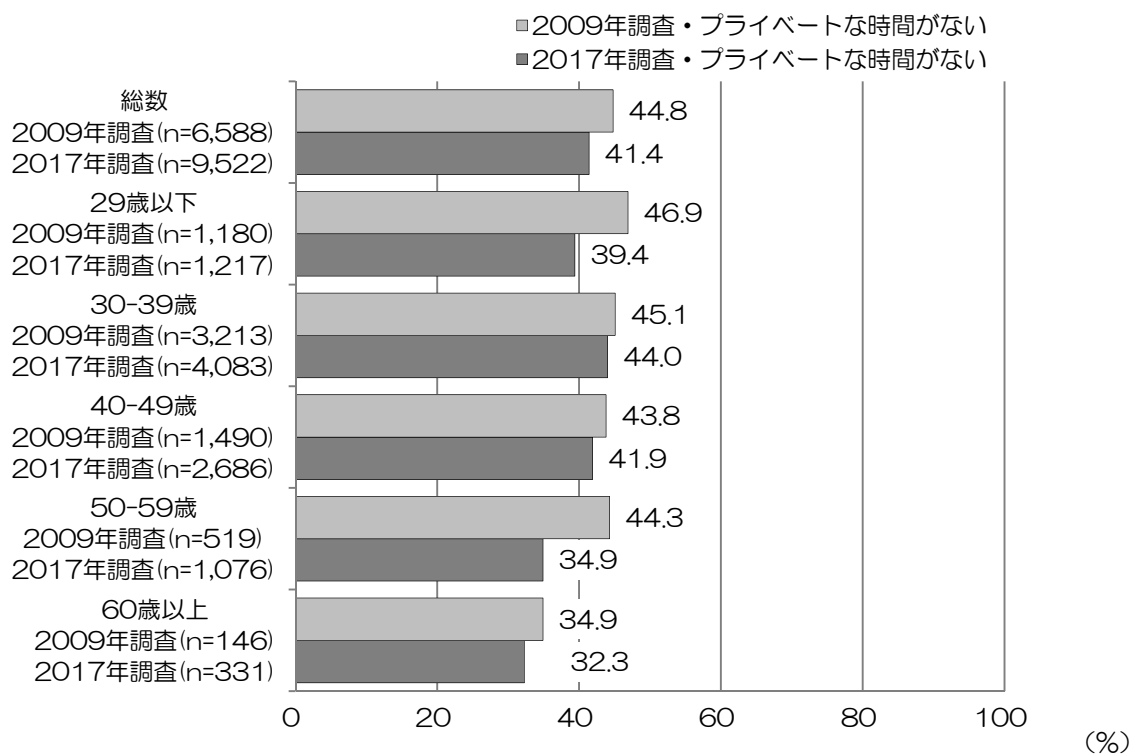
図 4-1-3-1 年齢階級別にみた医師としての悩み【キャリア形成・スキルアップ】（2009年調査・2017年調査）



※選択肢回答「3.勉強する時間が少ない」および「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに分類した。

(無回答を除く)

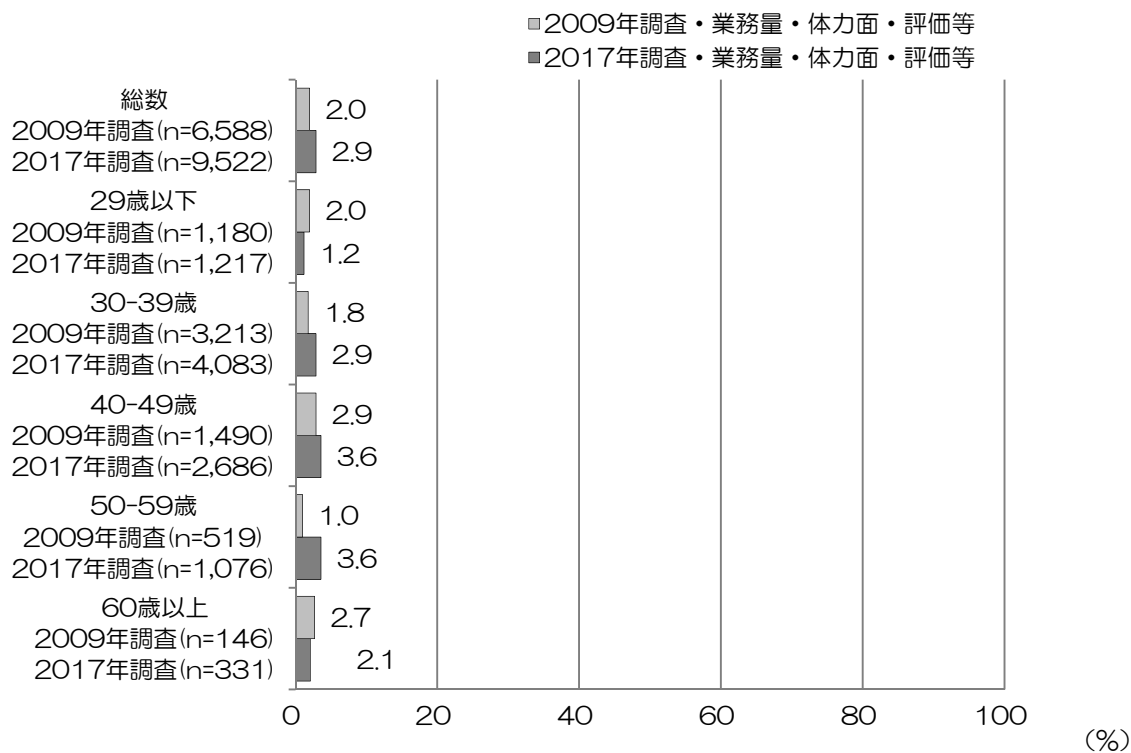
図 4-1-3-2 年齢階級別にみた医師としての悩み【プライベートな時間がない】(2009年調査・2017年調査)



※選択肢回答「2.プライベートな時間がない」および「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに分類した。

(無回答を除く)

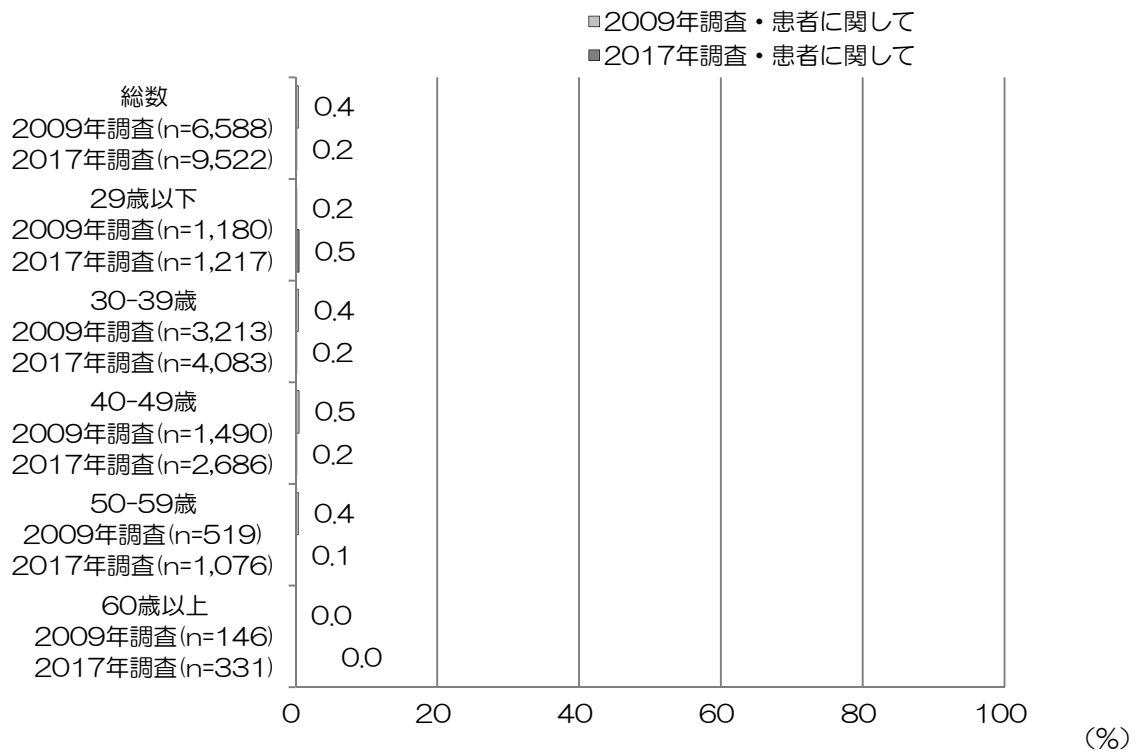
図 4-1-3-3 年齢階級別にみた医師としての悩み【業務量・体力面・評価等】(2009年調査・2017年調査)



※「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに分類した。

(無回答を除く)

図 4-1-3-4 年齢階級別にみた医師としての悩み【患者に関して】（2009年調査・2017年調査）



※「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに分類した。

（無回答を除く）

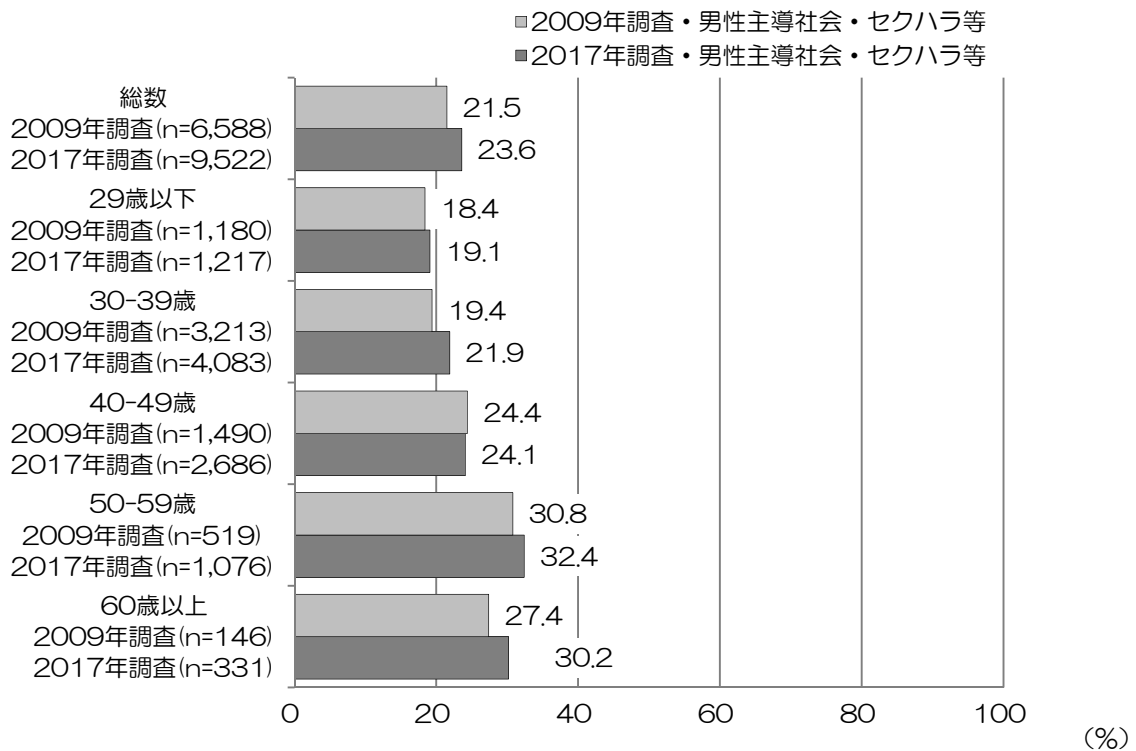
4-1-4. 年齢階級別にみた職場における女性医師としての悩み

職場における女性医師としての悩みの詳細をみると、「男性主導社会・セクハラ等」は2009年調査では50-59歳で30.8%、60歳以上で27.4%、2017年調査では50-59歳で32.4%、60歳以上で30.2%となっている。

「休憩室など施設環境不備」は2009年調査では29歳以下で41.9%、30-39歳で28.4%、2017年調査では29歳以下で28.8%、30-39歳で18.8%となっている。

「職場の無理解・人間関係」は2009年調査では50-59歳で1.5%、60歳以上で0.7%、2017年調査では50-59歳で1.8%、60歳以上で2.7%となっている。

図 4-1-4-1 年齢階級別にみた職場における女性医師としての悩み【男性主導社会・セクハラ等】
(2009年調査・2017年調査)

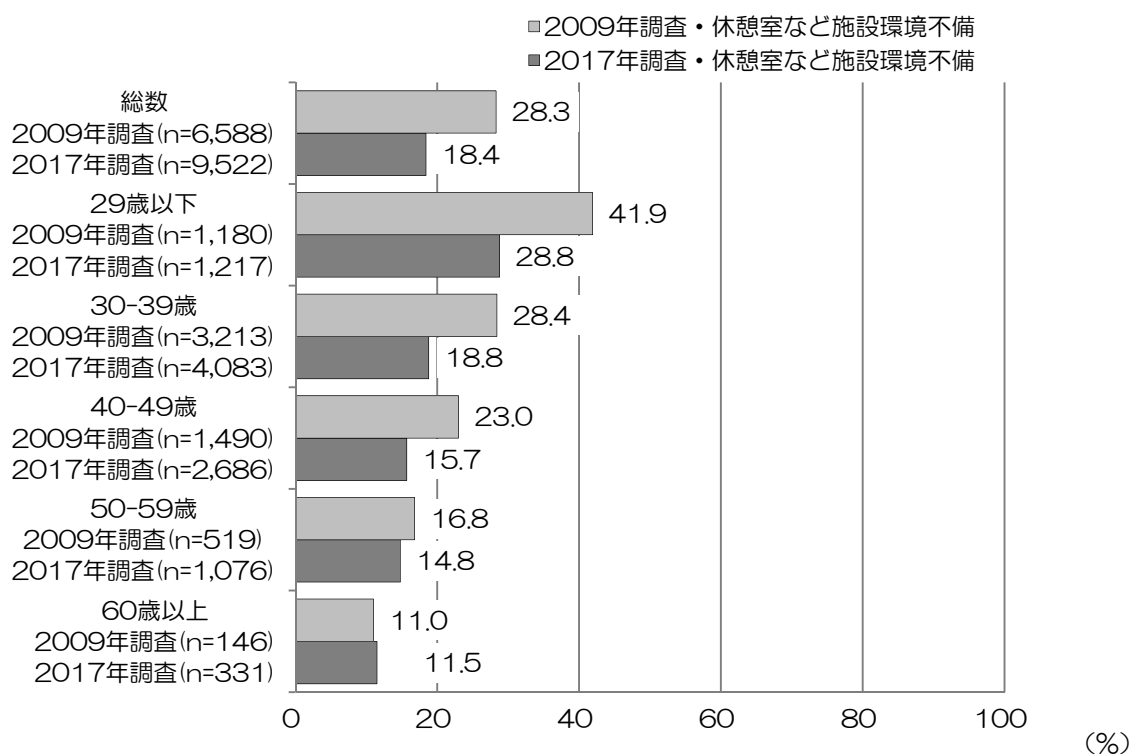


※選択肢回答「5.男性主導社会」「6.セクハラ」および「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに分類した。

(無回答を除く)

図 4-1-4-2 年齢階級別にみた職場における女性医師としての悩み【休憩室など施設環境不備】

(2009年調査・2017年調査)



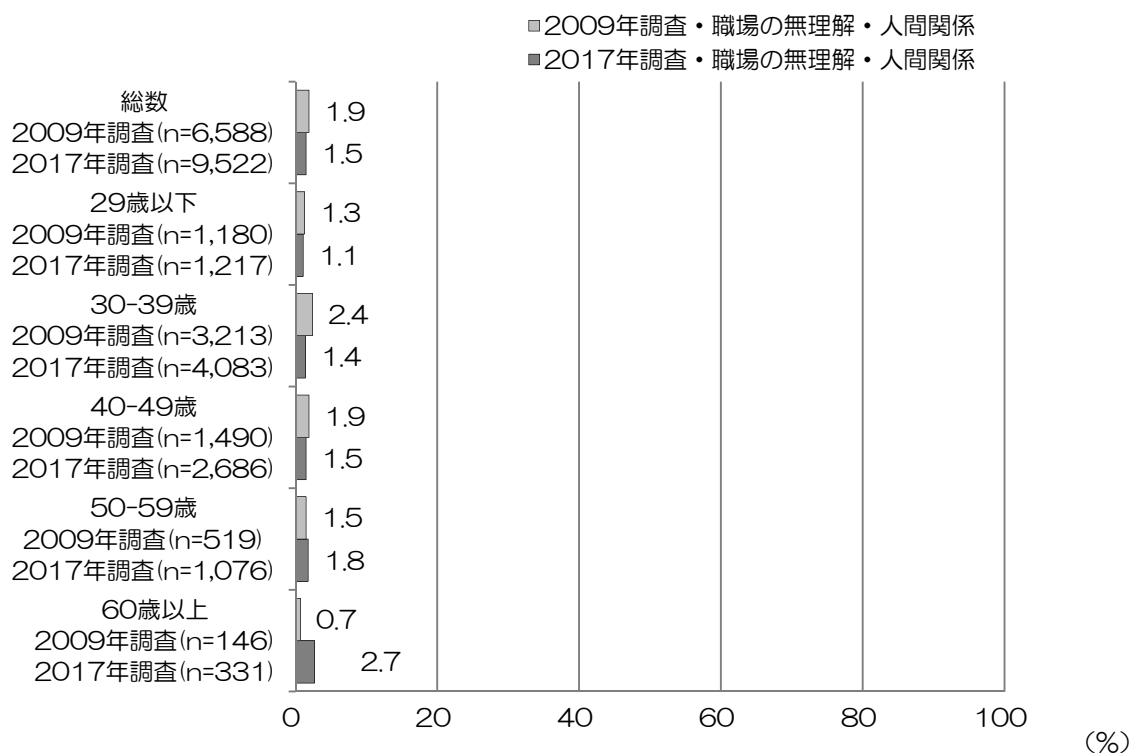
※選択肢回答「4.当直室・更衣室・休憩室などの施設環境の不備」および「その他」を選択した人の

具体的な記入内容をもとに分類した。

(無回答を除く)

図 4-1-4-3 年齢階級別にみた職場における女性医師としての悩み【職場の無理解・人間関係】

(2009年調査・2017年調査)



※「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに分類した。

(無回答を除く)

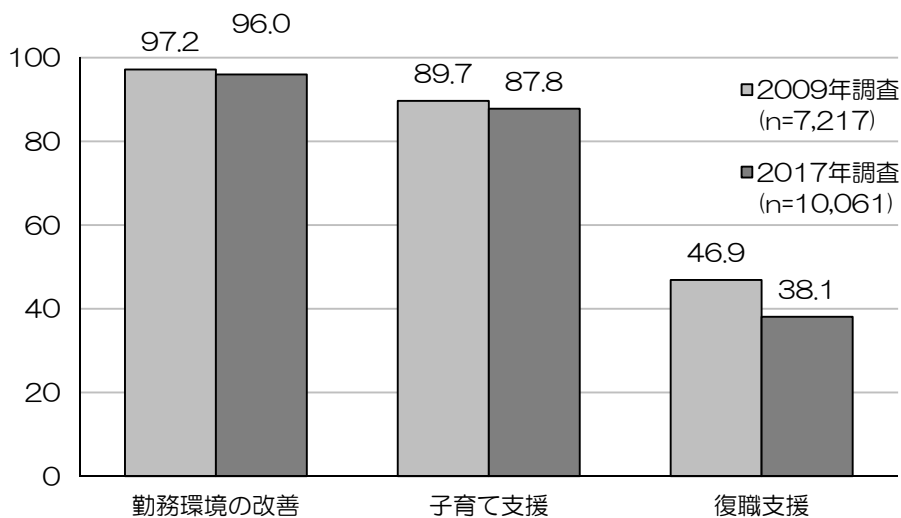
4-2. 仕事を続ける上で必要と思う支援

仕事を続ける上で必要と思う制度や仕組み・支援対策等について複数回答でたずね、回答を「勤務環境の改善」、「子育て支援」、「復職支援」に大きく分類してみたところ、「勤務環境の改善」は2009年調査で97.2%、2017年調査で96.0%となっている。

「子育て支援」は2009年調査で89.7%、2017年調査で87.8%となっている。

「復職支援」は2009年調査で46.9%、2017年調査で38.1%となっている。

図 4-2 仕事を続ける上で必要と思う支援（2009年調査・2017年調査）
（%）



（無回答を除く）

※選択肢回答および「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに、上記のように分類した。なお、選択肢回答の分類方法は以下のとおりとなっている。

◎勤務環境の改善：「1.人員（医師）の増員」「2.複数主治医制度の導入など主治医制の見直し」「3.二交代制の勤務体制」「4.代替医師の配置」「5.宿直・日直の免除」「6.時間外勤務の免除」「7.短時間正社員制度の導入・拡充」「8.フレックス制度導入」「9.働きやすい部門への配置転換」「21.診療報酬引き上げ、医療費の増額」

◎子育て支援：「10.託児所・保育園などの整備・拡充」「11.事業所内託児施設」「12.病児保育」「13.保育施設やベビーシッターの斡旋」「14.保育施設利用の際の保育料の助成」「15.ベビーシッター利用の際の費用補助」「16.放課後における学童施設充実」「17.男性の家事・育児などへの参加」「20.国の事業所への補助金制度整備・拡充」

◎復職支援：「18.在宅研修制度」「19.出産・育児休業取得者への職場復帰支援」

4-2-1. 勤務環境の改善に関して必要と思う支援

勤務環境の改善に関して詳細をみると、「宿直・日直の免除」は2009年調査で62.3%、2017年調査で60.1%となっている。

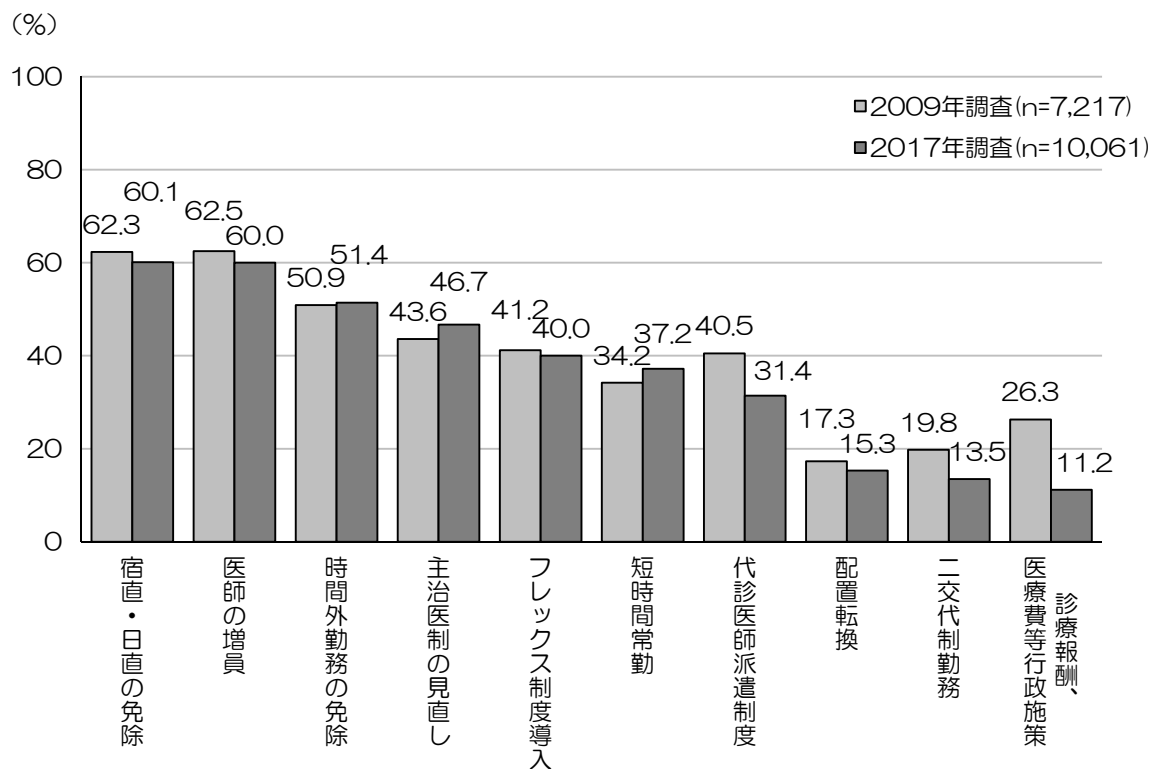
「医師の増員」は2009年調査で62.5%、2017年調査で60.0%となっている。

「時間外勤務の免除」は2009年調査で50.9%、2017年調査で51.4%となっている。

「主治医制の見直し」は2009年調査で43.6%、2017年調査で46.7%となっている。

「フレックス制度導入」は2009年調査で41.2%、2017年調査で40.0%となっている。

図 4-2-1 勤務環境の改善に関して必要と思う支援（2009年調査・2017年調査）



(無回答を除く)

4-2-2. 子育てに関して必要と思う支援

子育てに関して詳細をみると、「病児保育」は2009年調査で61.8%、2017年調査で65.1%となっている。

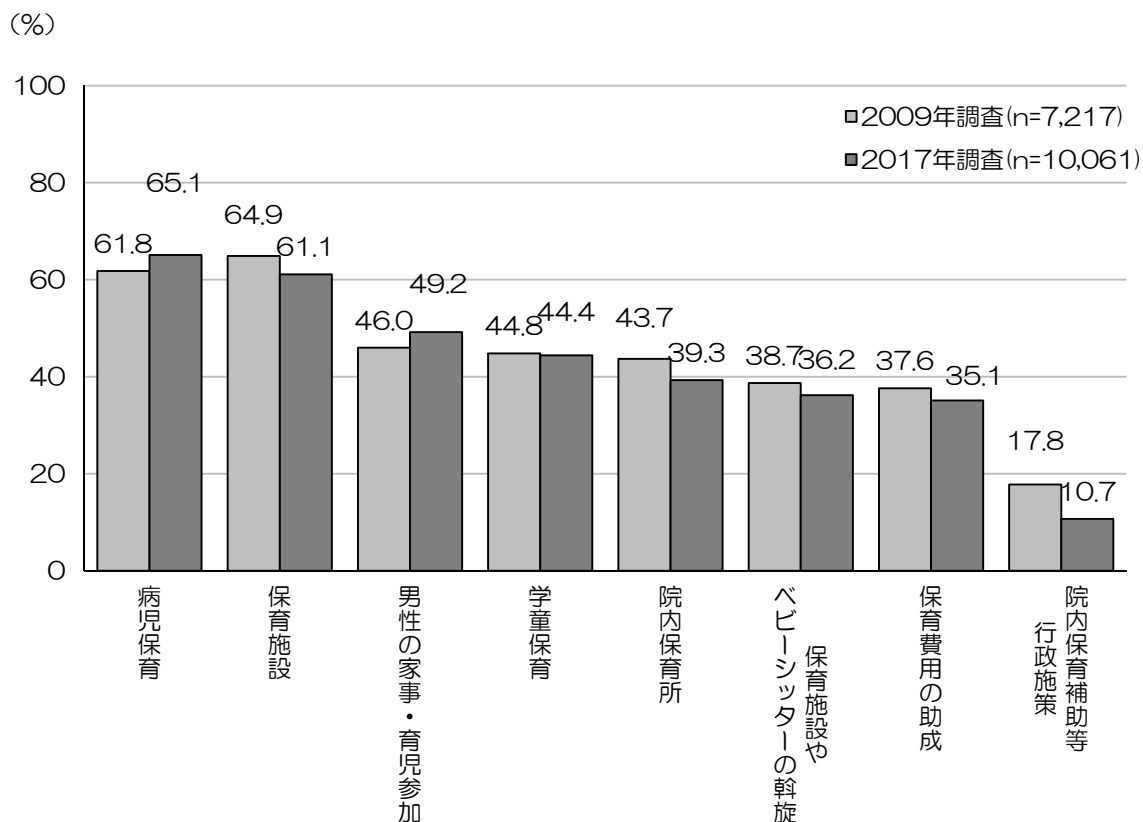
「保育施設」は2009年調査で64.9%、2017年調査で61.1%となっている。

「男性の家事・育児参加」は2009年調査で46.0%、2017年調査で49.2%となっている。

「学童保育」は2009年調査で44.8%、2017年調査で44.4%となっている。

「院内保育所」は2009年調査で43.7%、2017年調査で39.3%となっている。

図 4-2-2 子育てに関して必要と思う支援（2009年調査・2017年調査）



(無回答を除く)

※「保育費用の助成」は選択肢「14.保育施設利用の際の保育料の助成」「15.ベビーシッター利用の際の費用補助」を含む。

女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告書
比較詳細版

平成 30 年 4 月

日本医師会男女共同参画委員会
日本医師会女性医師支援センター

この報告書についてのお問い合わせは、下記あてにご連絡ください。

日本医師会女性医師支援センター

〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16

TEL 03-3942-6470

FAX 03-3942-7397

E-mail jmawdbk@jmawdbk.med.or.jp